

2022年度日野市子どもの貧困に関する職員研修

困窮家庭の子どもたちの 不利を蓄積させないために

PART 1. 子どもの貧困の現状

東京都立大学 非常勤講師
小田川華子

2022年12月23日収録

研修のねらい

2

【テーマ】困窮家庭の子どもたちの不利を蓄積させないために

Part 1. 子どもの貧困の現状

- 困窮家庭の子どもを知る
- 困窮家庭の子ども、保護者の置かれている状況を知る

Part 2. 予防と対応：各部署でできること

- 貧困対策における市の役割
- 察知・配慮・支援につなげる
- 連携のしくみづくり

Part 3. 日野市の子どもを取り巻く現状と

第2期日野市子どもの貧困対策に関する基本方針について

Part 4. 困難な状況にある子ども・家庭への支援の取り組み事例

- 食料を活用してつながり、見守り、地域で子育て

困窮家庭の子どもの不利の蓄積

3

- 生まれてくる前からの困窮状態
 - ▣ 妊婦健診費用、出産費用が賄えない
 - ▣ ワンルームで、ものがいっぱい
→赤ちゃんを寝かせる場所は？
- 乳幼児期の困窮状態
 - ▣ ミルク代を賄えない→発育不良
 - ▣ お母さんのエネルギーが落ちてしまっている
 - ▣ 整理整頓できず、不衛生な状態
 - ▣ お金のやりくりがうまくいかない

子どもの貧困をとらえる保健師のまなざし調査(2017年実施)より

見えにくい困窮家庭

4

- 困窮していることを周囲に知られないようにする
- 公的窓口相談しない
- 支援担当者を受け入れない = 支援が難しい

＜背景には・・・＞

- 過去に相当困って孤立したり、何度も相談したけれど、何の支援も得られなかった経験
- 困った状態になったのは自分のせいだと言われた経験
- 助けてもらうことを諦めることが多かった
- その結果、人を信じたり、人とうまくやっていくことが難しくなる

＜支援者が知っておくべきことは・・・＞

- 困ったときに責められた経験がSOSを出せない大人を作る
- 経済的な支援にとどまらず、生活の様々な面の支援が必要
- 特に温かく関わり、丁寧に支援することが必要

子どもの貧困をとらえる保健師のまなざし調査(2017年実施)より

貧

- 低所得
- お金が足りない

困

- 困っている
- 困難
- 不利



絶対的貧困と相対的貧困

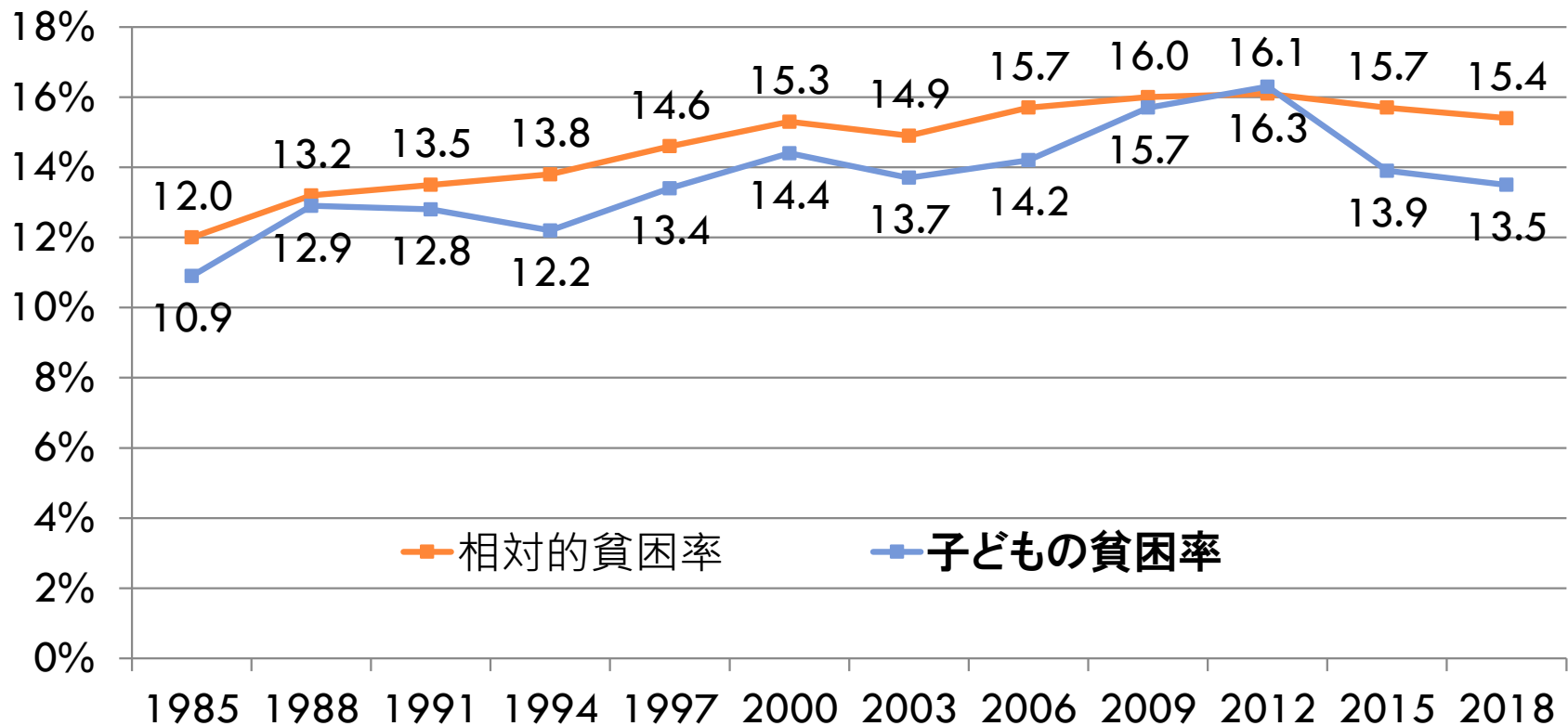
絶対的貧困

- 生存することが不可能な状態 (Rowntree, 1922)
- 最低限の衣食住を賄うことができない状態

相対的貧困

- 社会において標準的な生活様式の比較において許容できない状態 (Townsend, 1979)
- 進学に必要な費用を賄えない
- 歯医者で治療を受けることができない
- “見えない貧困”

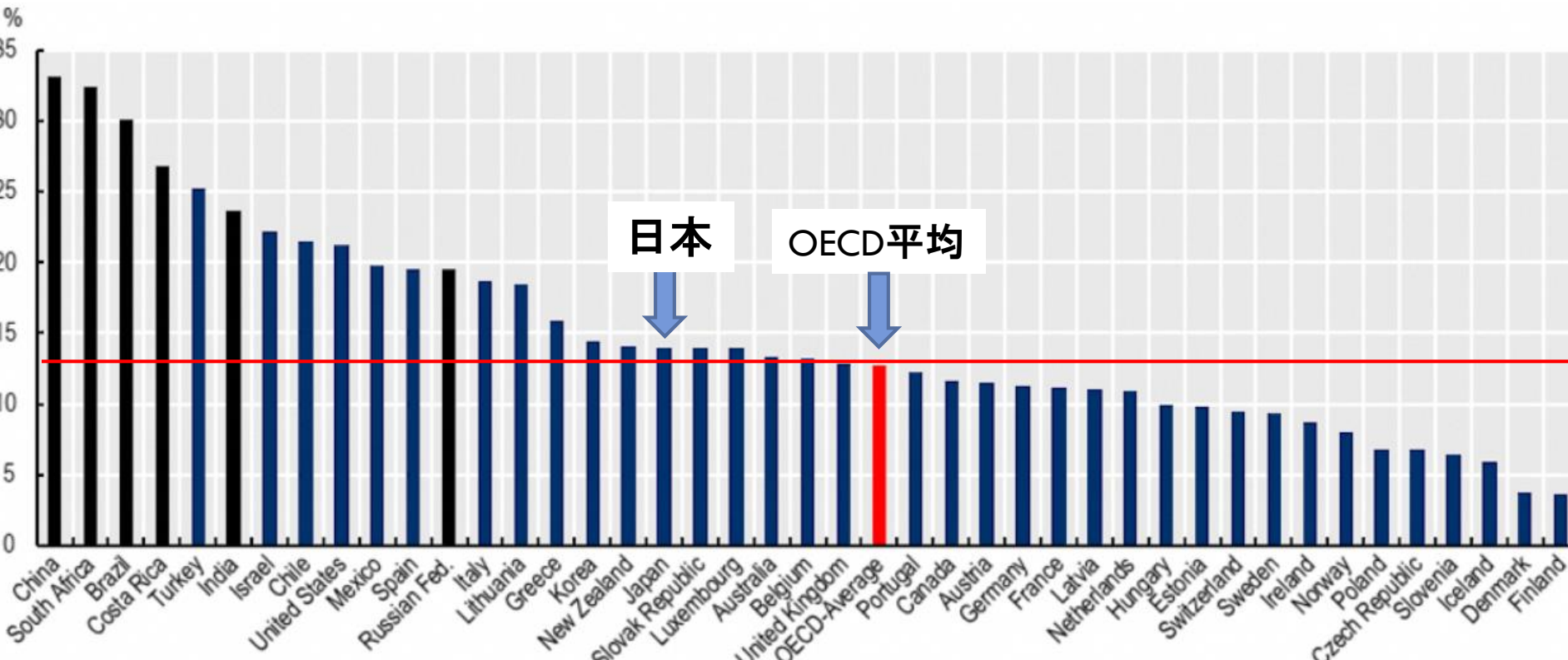
日本の相対的貧困率の推移(1985～2018年)



出所:厚生労働省『2019年 国民生活基礎調査の概況』から作成

- 子どもの定義は17歳以下
- 1985年から2012年まで子どもの貧困率は概して漸増傾向
- 2012年は、初めて、子どもの貧困率が相対的貧困率を上回った

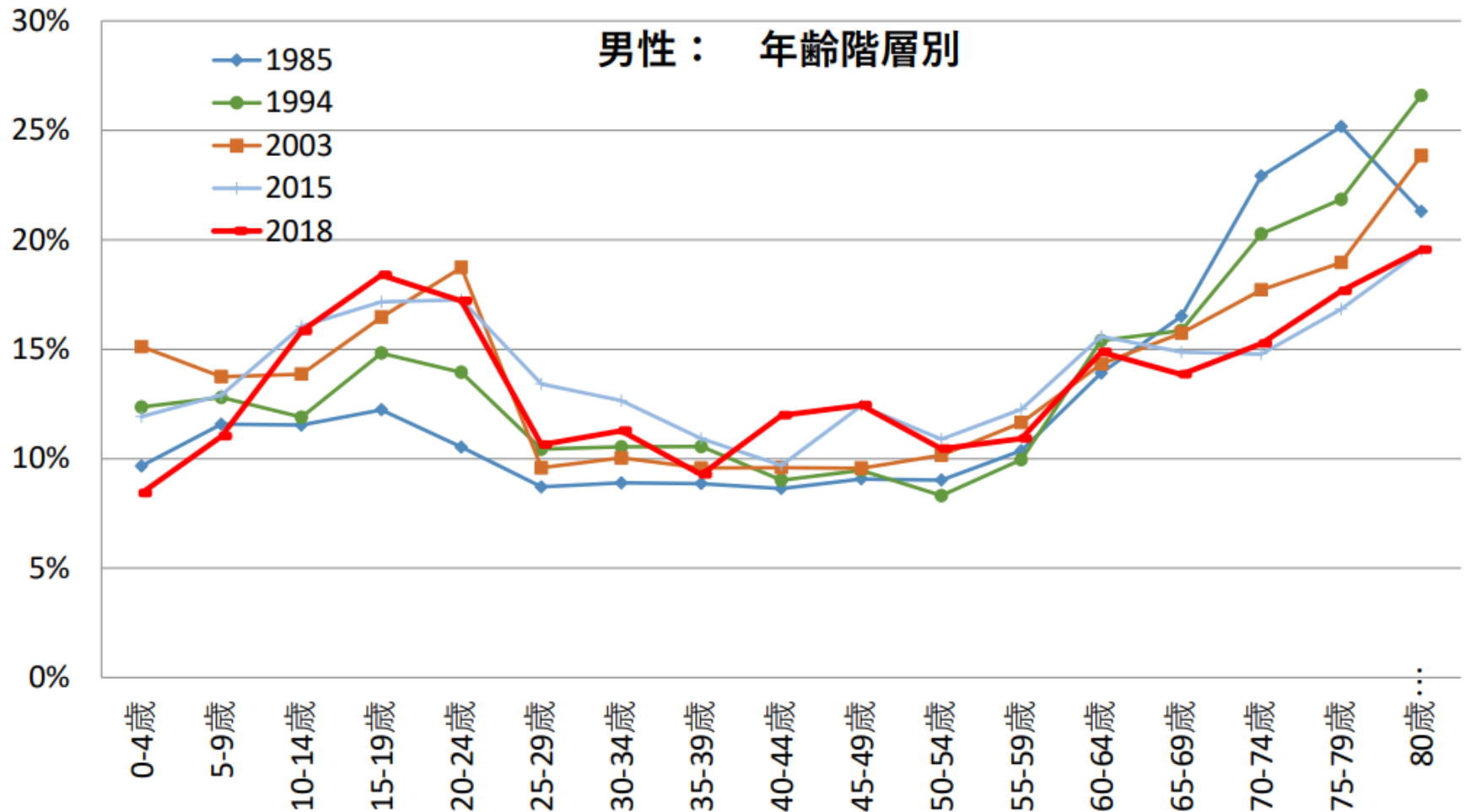
日本の子どもの貧困率は OECD42か国中悪い方から18位(2017年) 世帯所得中央値の50%未満で暮らす17歳以下の子供の割合



注:最新データは2017年のものだが、コスタリカ(2019)、オーストリアとイスラエル(2018)、デンマーク、メキシコ、オランダ、スロバキア共和国、ロシア連邦(2016)、アイスランド、日本、スイス、トルコ、南アフリカ(2015)、ニュージーランド(2014)、ブラジル(2013)、中国とインド(2011)である。

出典:OECD Income Distribution Database, oe.cd/idd.

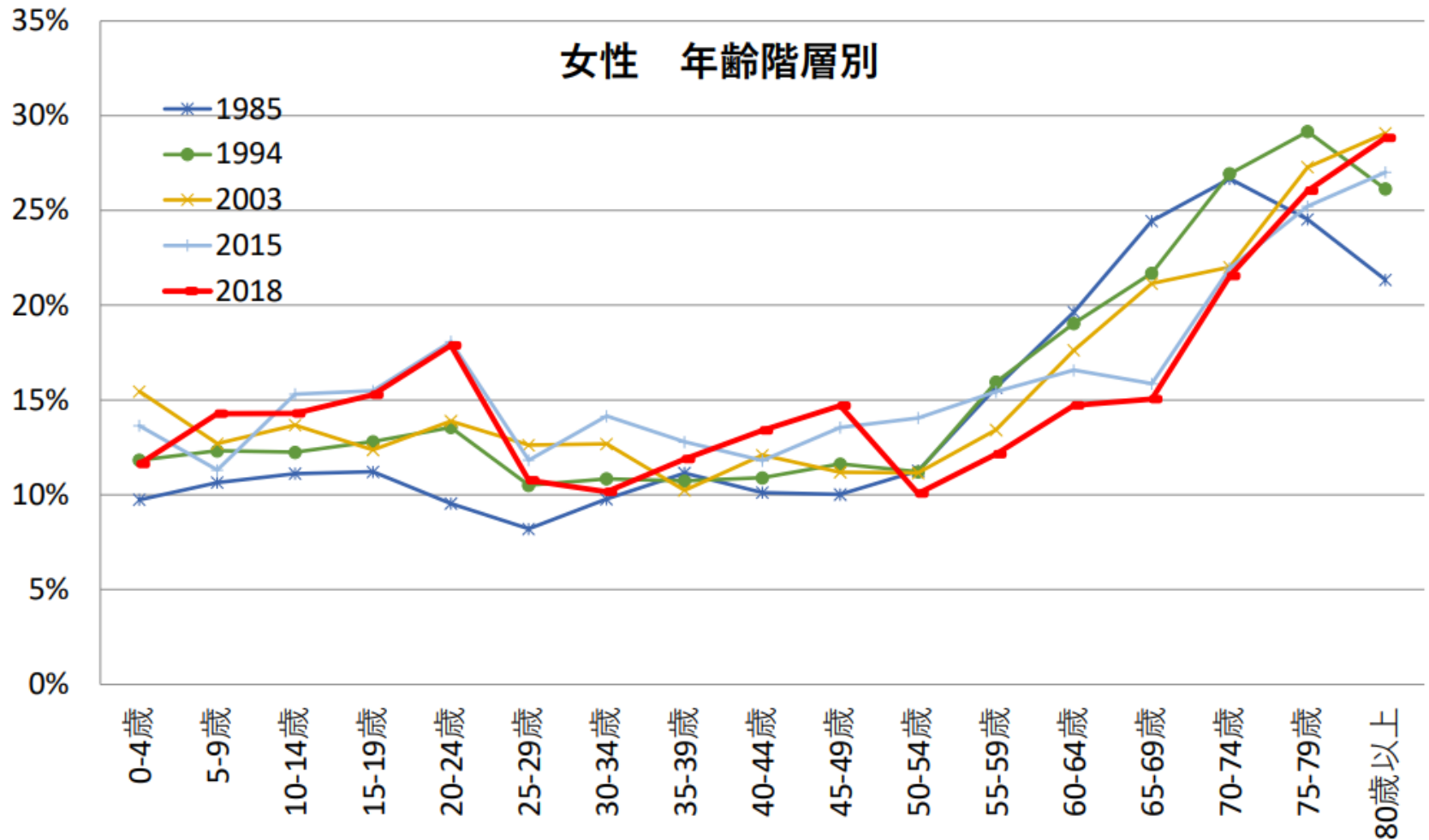
男性の年齢階層別 貧困率：1985から2018年の動き



出所：阿部彩(2021)「日本の相対的貧困率の動態：2015から2018年」貧困統計HP

- 1985年から2018年の30年間にて、高齢期の貧困率は改善、若者・子どもの貧困率が上昇。
- 明らかな若年期(15-19歳、20-24歳)の「山」の出現。
- 2000年代に入って40代の貧困率が上昇。

女性の年齢階層別 貧困率:1985から2018年の動き



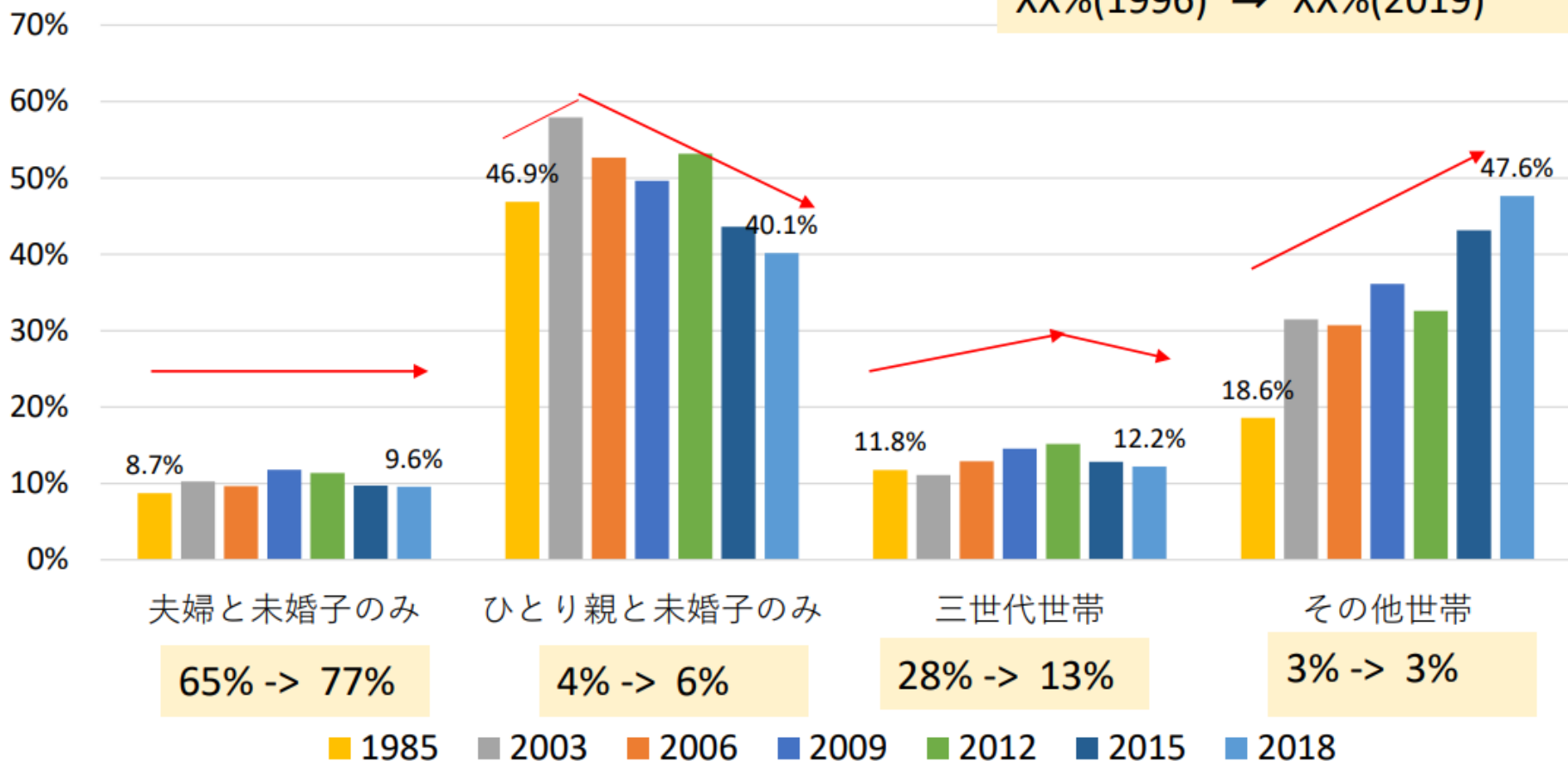
出所:阿部彩(2021)「日本の相対的貧困率の動態:2015から2018年」貧困統計HP

- 若年世代の貧困率が上がった。15～24歳に「山」。
- 高齢期の貧困率が依然として高い。

子どもの貧困率：1985から2018年

20歳未満（男女）

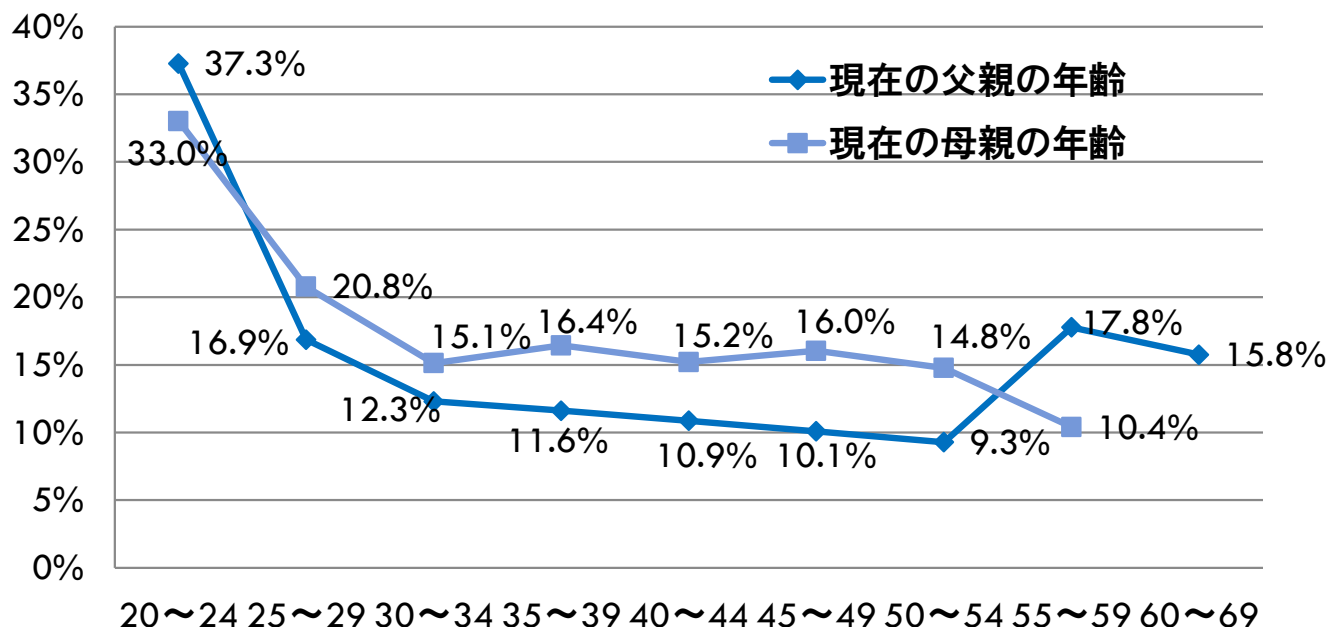
子ども総数に占めるシェア
XX%(1996) ⇒ XX%(2019)



- 貧困率は「夫婦と未婚子」では微増。「ひとり親と未婚子」では2000年代をピークに減少。しかし、まだ高い。三世代世帯は微増。
- ・その他世帯は子ども総数の3%しか占めないが急増。

20代の保護者の貧困率の高さ

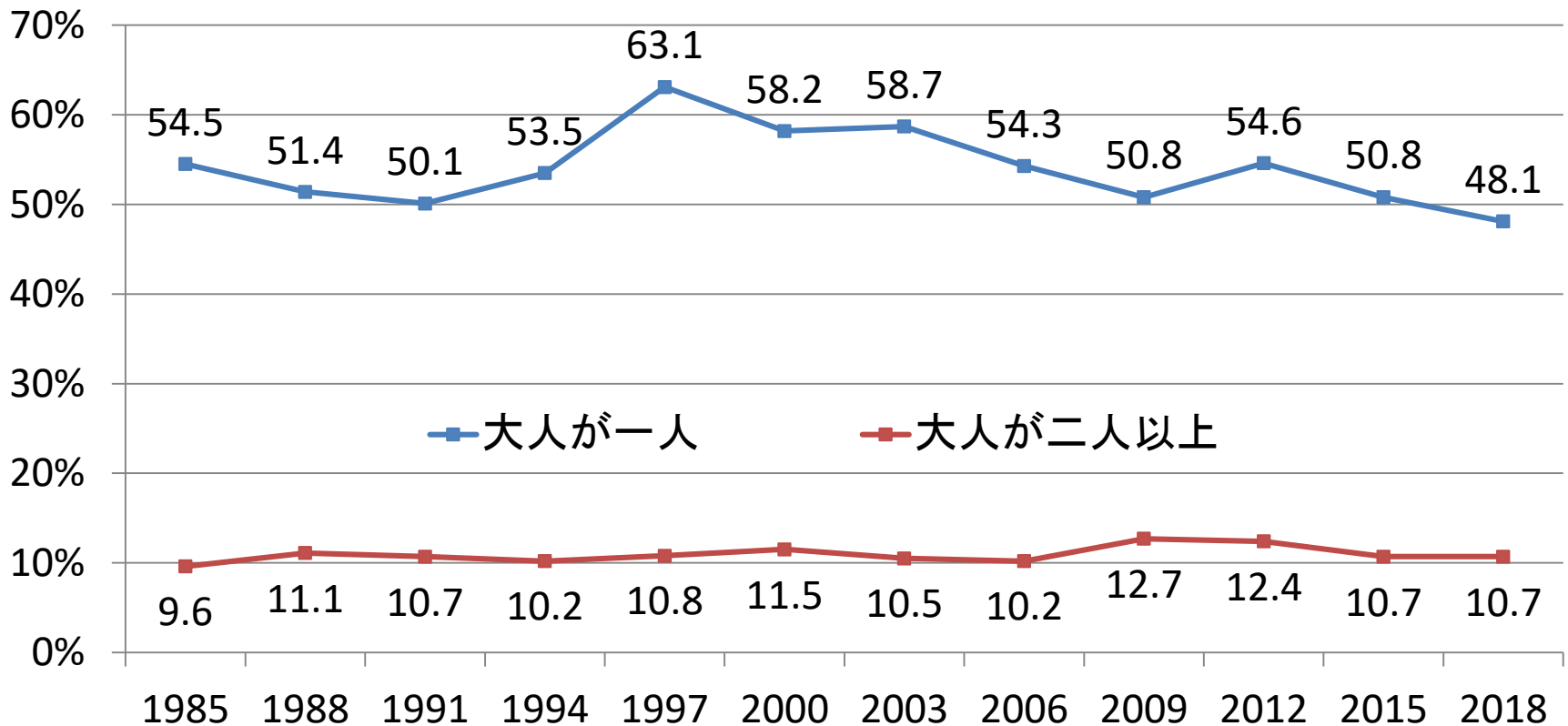
父親・母親の年齢別 子どもの貧困率(2012)



- 子どもの貧困率は、子どもの年齢よりも、父親の年齢に関係している。
- 現在の父親の年齢別に見ると、20歳代前半から50歳代後半にかけて、子どもの貧困率は減少し、50歳代後半に再び上昇する。この傾向は、労働市場における男性の状況を反映している。特に、20歳代前半(20-24歳)の父親を持つ子どもの貧困率が高い。
- 子どもが生まれた時の父親の年齢別に見ると、子どもの貧困率は20歳代前半で高く、30歳代にて低くなっていった後、40歳代で上昇、50歳代前半では非常に高くなっている。

ひとり親世帯の貧困率の高さ

子どもがいる現役世帯の相対的貧困率の推移



出所:厚生労働省『2019年 国民生活基礎調査の概況』から作成

- ひとり親世帯の貧困率は50%前後で推移。
- ふたり親世帯との格差が大きい。

男女賃金格差(%)

日本では
子どもをもつフルタイム
就労の女性の賃金は
同様の男性の賃金の
4割程度である



注：男女賃金格差とは、男女の賃金中央値の差を男性の賃金中央値で除した数値を百分率で表したものの。格差20%とは、男性の賃金を100とした場合、女性の賃金が80であることを示す。
男女賃金格差（フルタイム就業者）は2010年（一部2008年、2009年データ）。16歳未満の子どもがいる男女の格差は2007～2010年の各国資料に基づきOECD事務局が算定。
OECD平均は、男女賃金格差（フルタイム就業者）は26か国、16歳未満の子どもがいる男女の格差は30か国の平均で、表に挙げていない国も含む。

出所：OECD（2012）Closing the Gender Gap：Act Now, OECD.

Figure 13.1およびFigure 13.3の元データに基づき作成

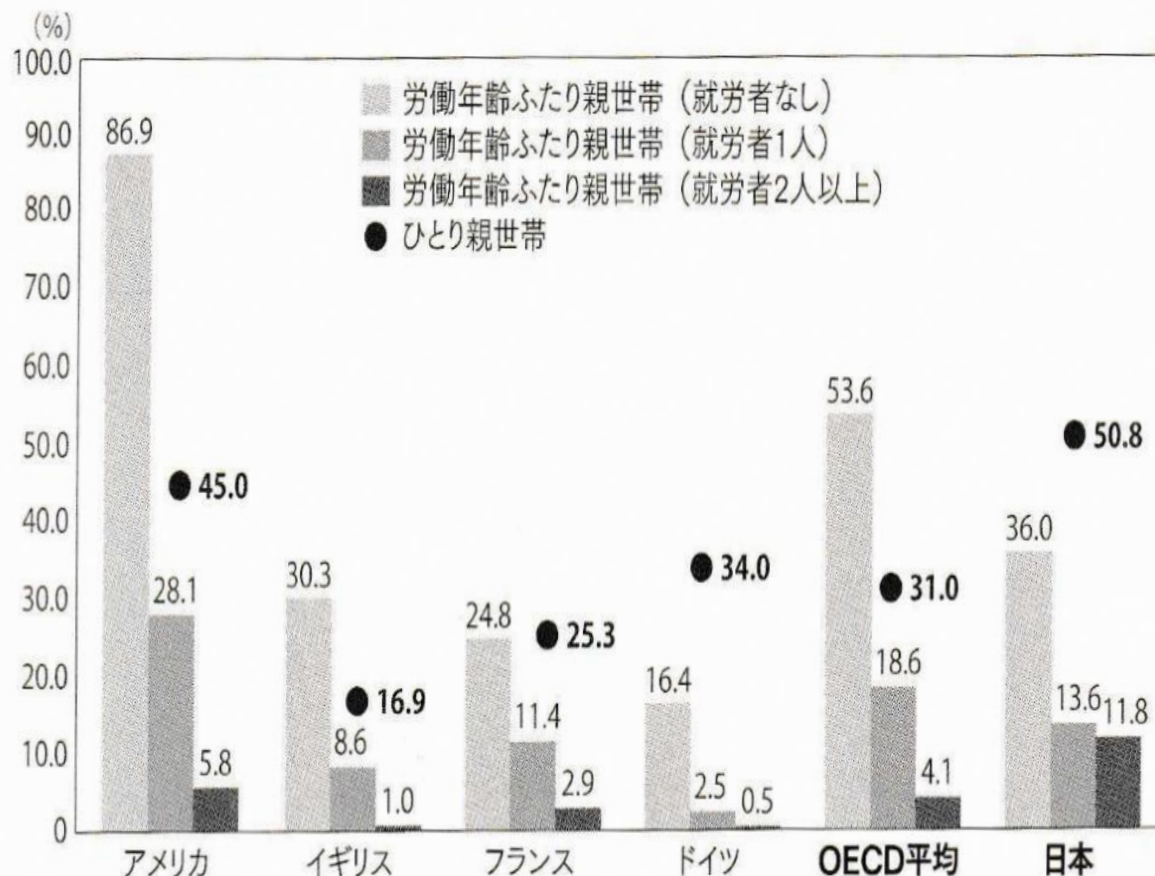
出所：藤原千沙(2016)「なぜ子育て世帯・母子世帯が貧困に陥るのか」秋田喜代美他編『貧困と保育』かもがわ出版, p.184.

男女賃金格差（フルタイム就業者）

男女賃金格差（フルタイム就業者、25-44歳、16歳未満の子どもあり）

日本では 女性の就労は貧困の解消にあまり貢献しない

子どもの
いる世帯
の貧困率
(2010年
前後)



注：OECD平均は、ふたり親世帯は34か国、ひとり親世帯は39か国の平均
 出所：OECD Family Database, CO2.2.C およびTable CO2.2.A より作成
 原資料：OECD Income distribution questionnaire (version Jan 2014)

出所：藤原千沙(2016)「なぜ子育て世帯・母子世帯が貧困に陥るのか」秋田喜代美他編『貧困と保育』かもがわ出版, p.181.

東京 子どもの生活実態調査

16

- 対象：都内の4自治体に住む小学5年生、中学2年生、16-17歳の本人およびその保護者、約2万世帯（回収率42%）
- 調査時期：2016年8～9月
- 調査方法：郵送法
- 生活困難度別、世帯タイプ別の分析により、困窮層、周辺層の子どもたちの生活実態を明らかにした。

【生活困難度の分類に用いた要素】

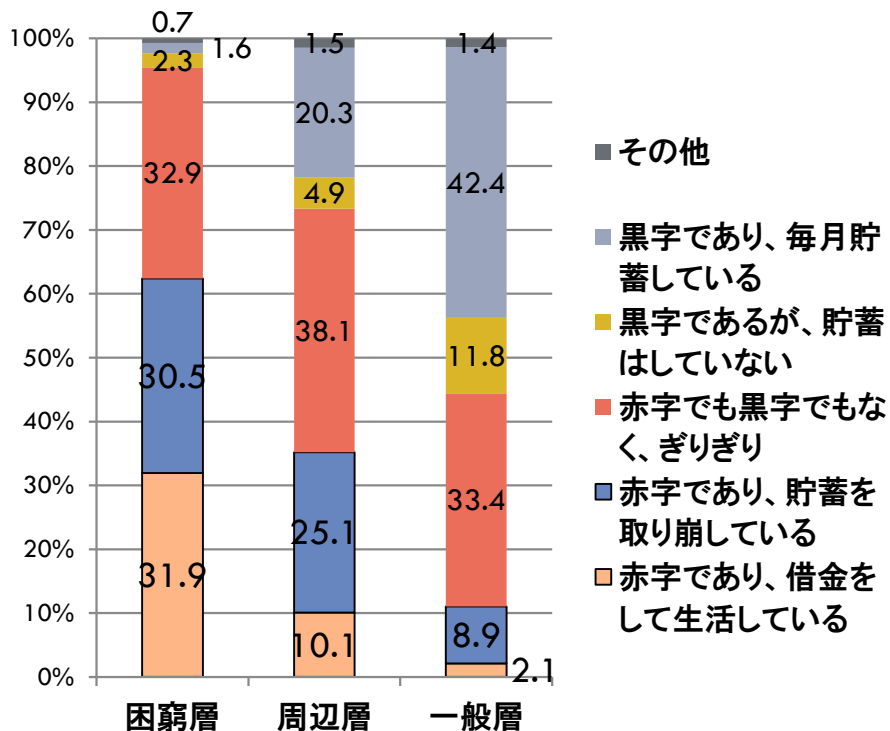
- ① 低所得
- ② 家計のひっ迫
- ③ 子供の体験や所有物の欠如

生活困難層		困窮層＋周辺層
	困窮層	2つ以上の要素に該当
	周辺層	いずれか1つの要素に該当
一般層		いずれの要素にも該当しない

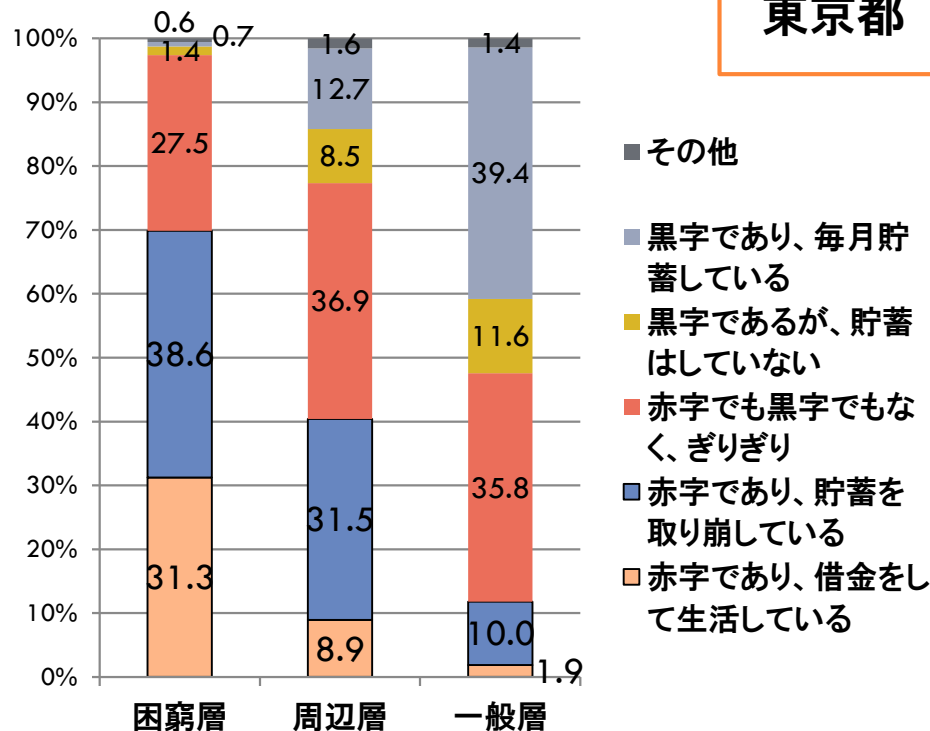
困窮層の家庭の約6割が赤字家計

17

家計の状況(小5)



家計の状況(中2)



東京都

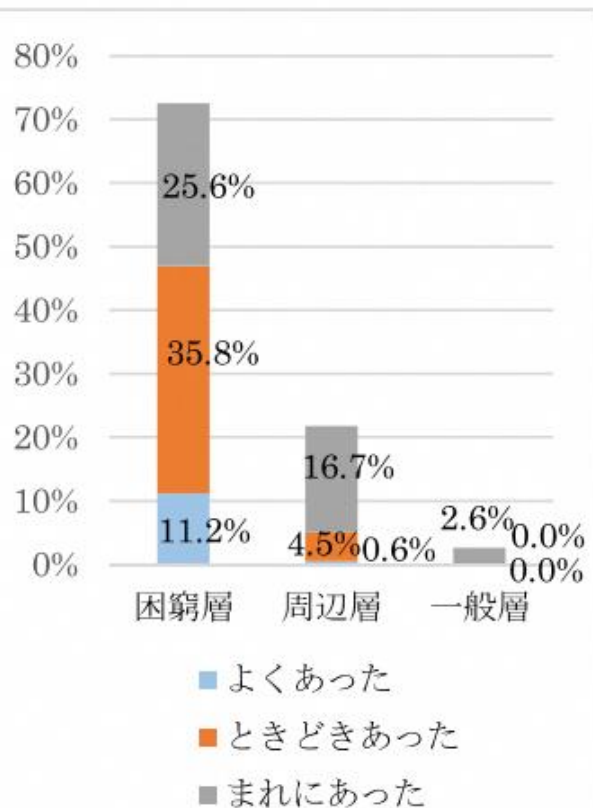
- 困窮層は、小学5年で31.9%、中学2年で31.3%が毎月の家計が「赤字で借金をして生活」。30.5%、38.6%が「貯蓄を取り崩して生活」。
- 「ぎりぎり」が約3割で、黒字の家庭はわずか。

過去1年間に金銭的な理由で家族が必要とする食料が買えなかった経験：生活困難度別

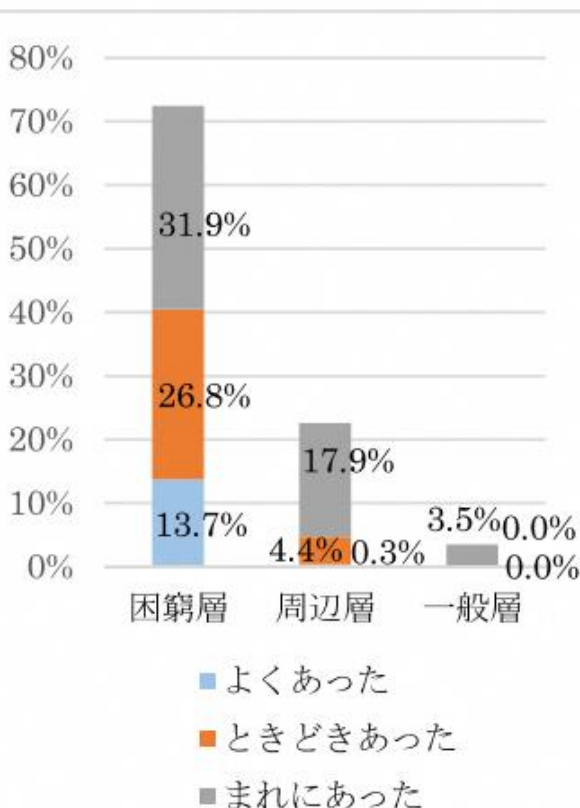
18

東京都

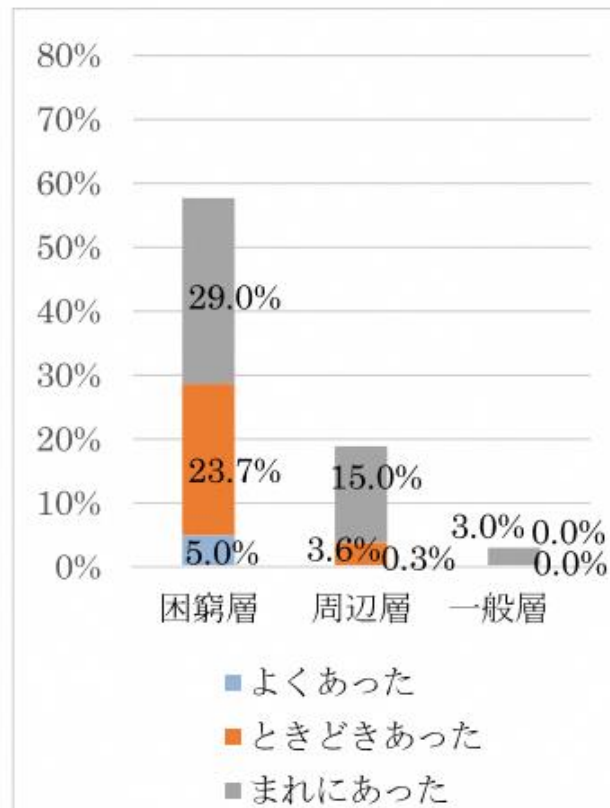
小学5年生 (***)



中学2年生 (***)



16-17歳 (***)

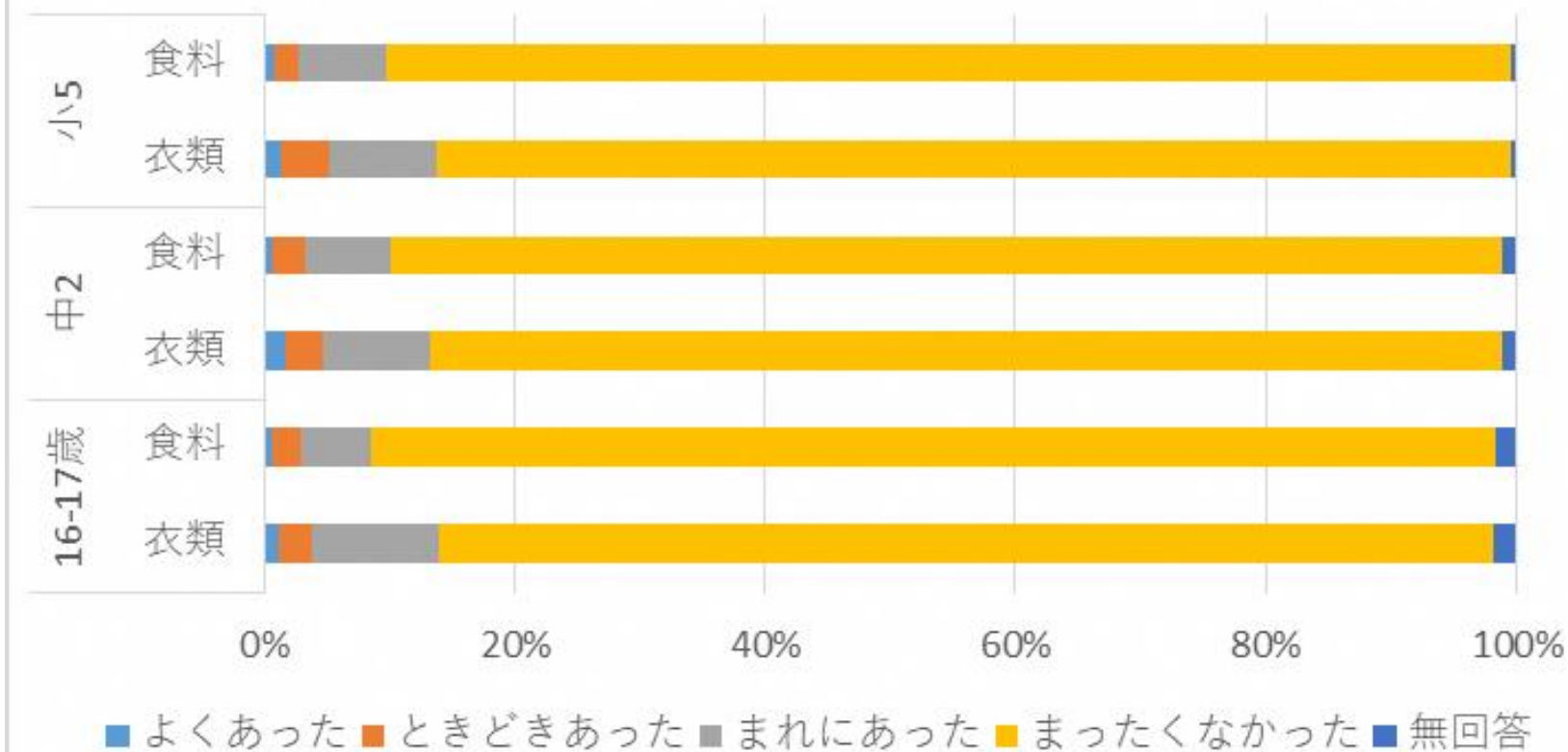


過去1年間に金銭的な理由で家族が必要とする食料が買えなかった経験

19

日野市

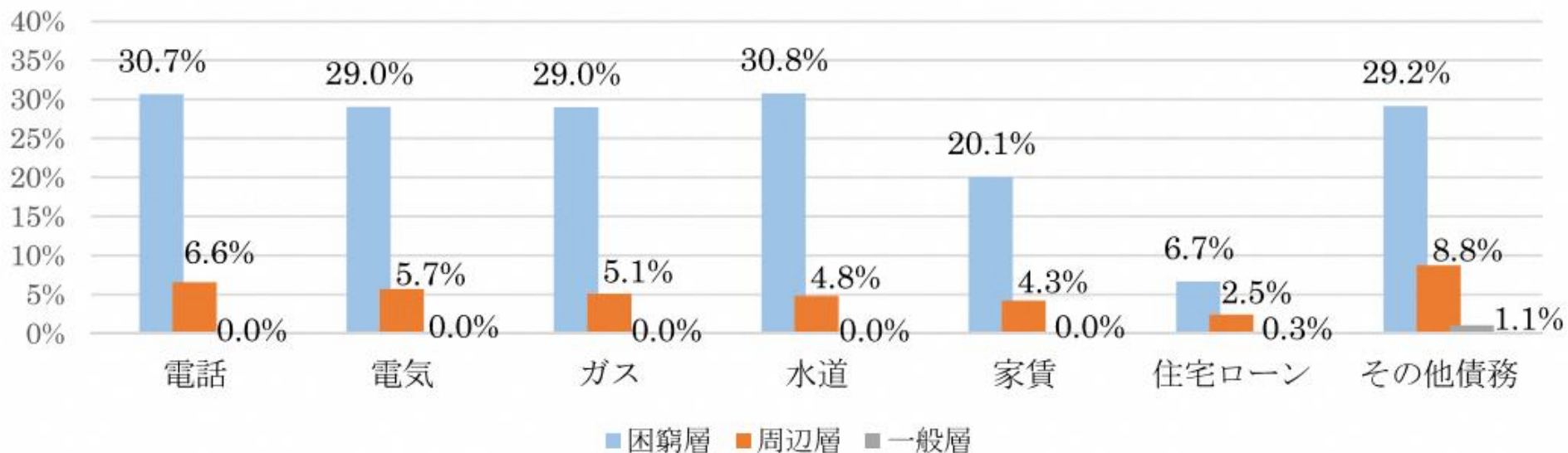
過去1年間で食料・衣類が買えなかった経験



日野市子どもの貧困対策に関する基本方針(平成29年)

過去1年間の公共料金等の滞納経験 (小学5年生):生活困難度別(全項目***)

20



東京都(2017)「子どもの生活実態調査」

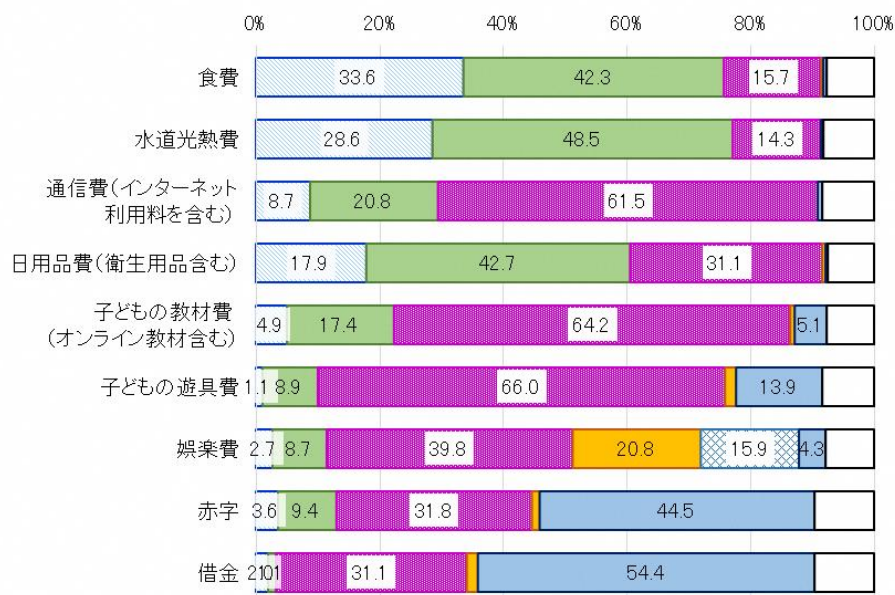
- 一般家庭で、公共料金を滞納するのは、ほぼ0%だが、
- 困窮層では、3割が滞納経験あり。家賃滞納経験は2割。

コロナによる臨時休校期間中の家計の変化

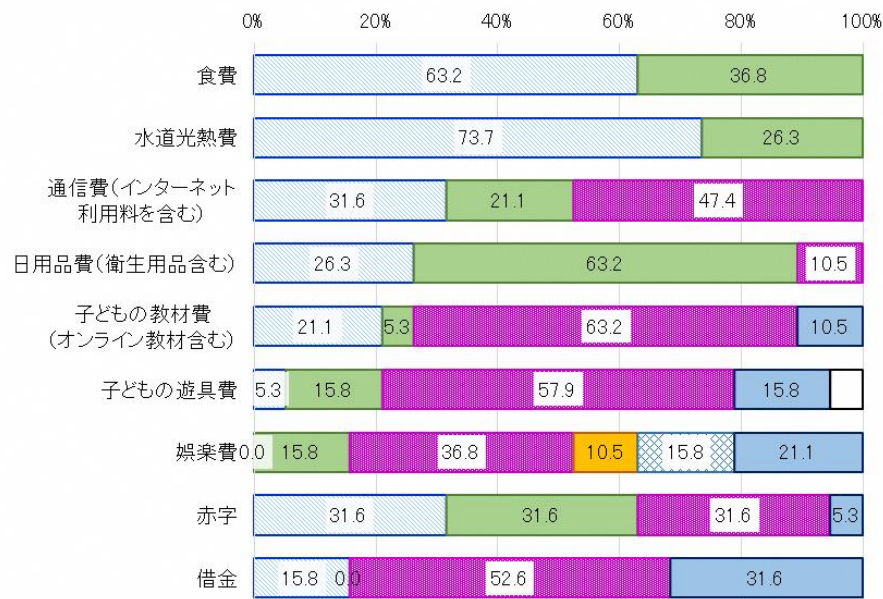
困窮層では特に食費・水道光熱費・赤字・借金が増

21

16-17歳保護者(全体)



16-17歳保護者(困窮層)



■ とても増えた ■ 少し増えた ■ 変わらない ■ 少し減った
■ とても減った ■ そもそもない □ 無回答

■ とても増えた ■ 少し増えた ■ 変わらない ■ 少し減った
■ とても減った ■ そもそもない □ 無回答

出所)日野市子どもの生活実態調査(令和3年実施)

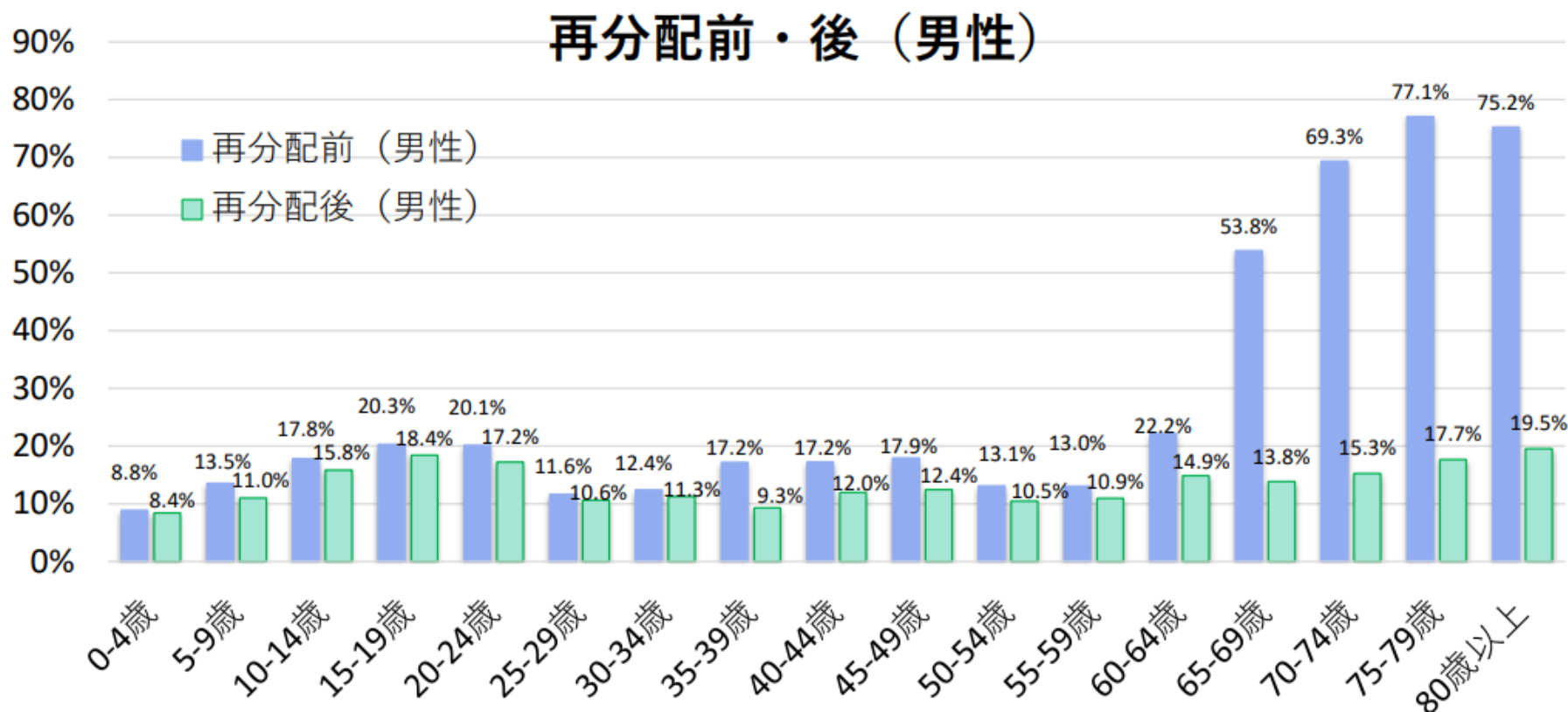
貧困を生まないセーフティネット施策 (川上対策)

4層のセーフティネット

①労働・雇用	最低賃金・同一労働同一賃金などの労働規制
②社会保険	失業保険【職歴のない若者対象外・給付期間】
③社会手当	家族給付(児童手当等) 普遍的な(所得制限なしの)手当(児童手当等) 普遍的なサービス(医療、保育所等) 奨学金など教育に対する給付 住宅手当【未整備】 給付つき税額控除【未整備】 失業扶助【未整備】 失業保険への扶養家族付加給付【未整備】

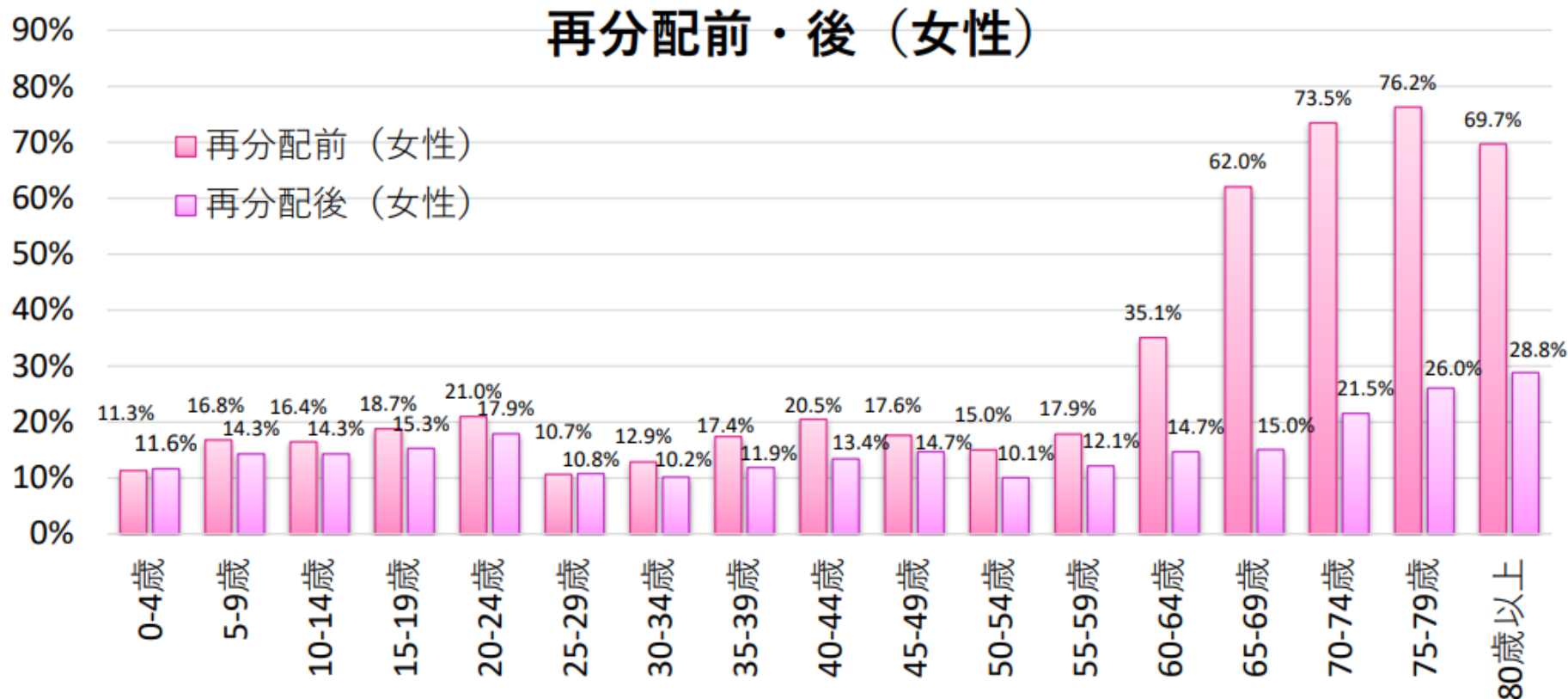
④生活保護

再分配前と再分配後の貧困率（男性）：2018年



- 政府の再分配によって、高齢者においては大きな貧困率の改善が見られるものの、勤労世代・子どもにおいては、その改善度は小さい。
- 2012年、2015年に見られた0-4歳における再分配後に貧困率が悪化する傾向は2018年には見られない。

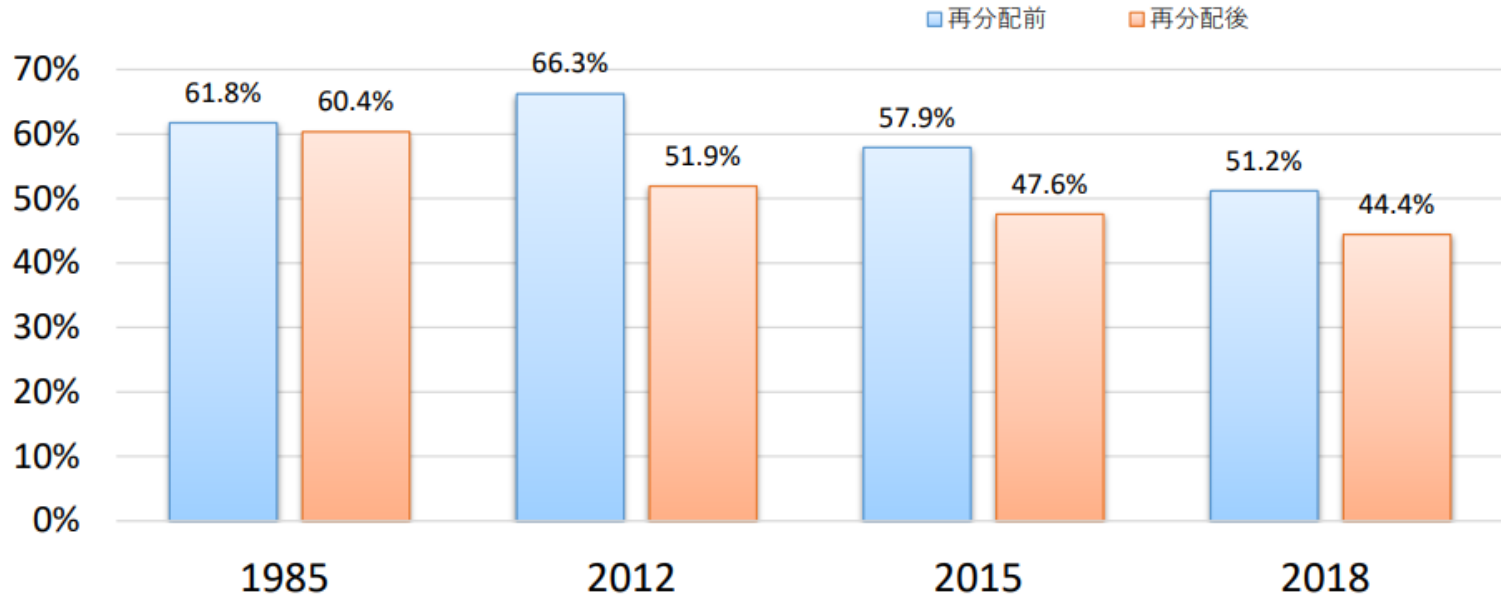
再分配前と再分配後の貧困率（女性）：2018年



- 男性と同様に、政府の再分配によって、高齢者においては大きな貧困率の改善が見られるものの、勤労世代・子どもにおいては、その改善度は小さい。
- 0-4歳と25-29歳にて、再分配後に貧困率が若干悪化している。

母子世帯(*)の貧困率

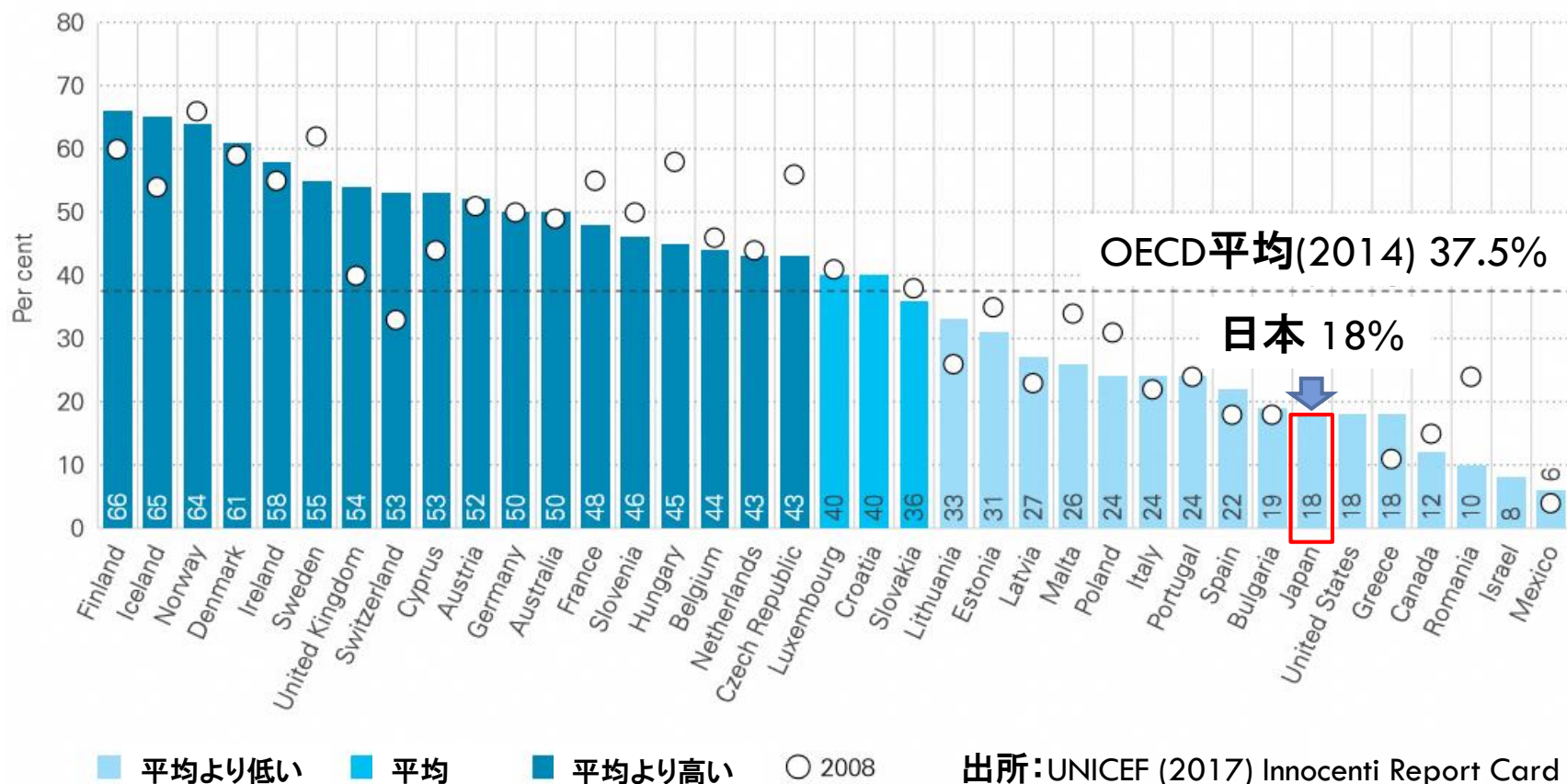
母子世帯（*）の再分配前後の貧困率



- 1985年や2012年に比べ、2019年の母子世帯（※）の貧困率は、再分配前の貧困率が減少したため、再分配後の貧困率も減少した。
- 一方で、1985年に比べ、2012年の再分配前の貧困率が高いというように、再分配前の貧困率は景気の動向に左右される度合いが大きい。真に母子世帯の母親の就労状況が改善したとは考えられず、就労による母子世帯の生活保障には限界がある。

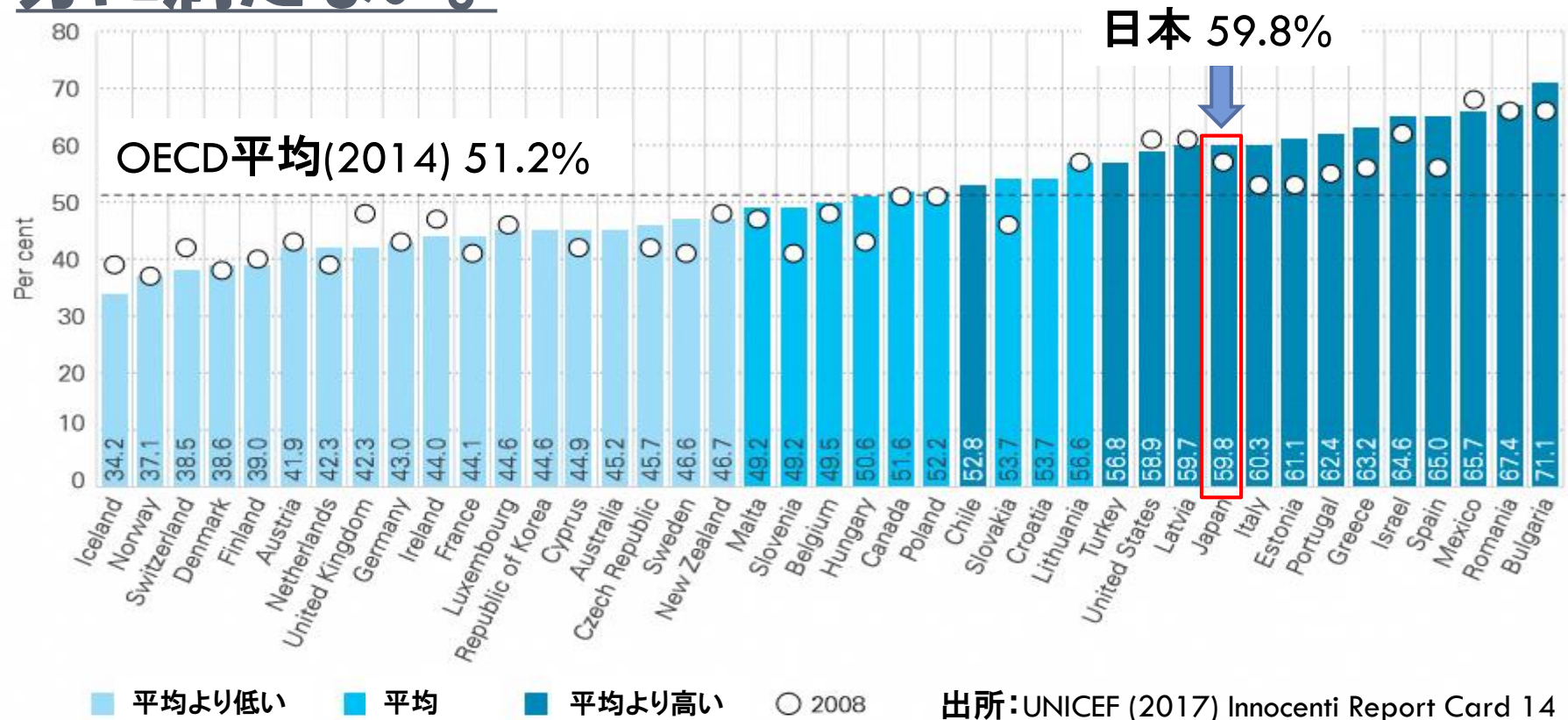
※ 母子世帯とは、死別・離別・その他の理由（未婚の場合を含む）で、現に配偶者のいない65歳未満の女と20歳未満のその子のみで構成している世帯。

再分配による子どもの貧困率の減少効果



- ・ フィンランド等は再分配(社会保障給付)により、貧困率を66%減
- ・ 日本は18%減にとどまる。社会保障給付(手当など)による貧困削減に課題。

日本における最も貧しい下から10%にあたる子どもの所得は、平均的な世帯の子どもの所得の半分に満たない。

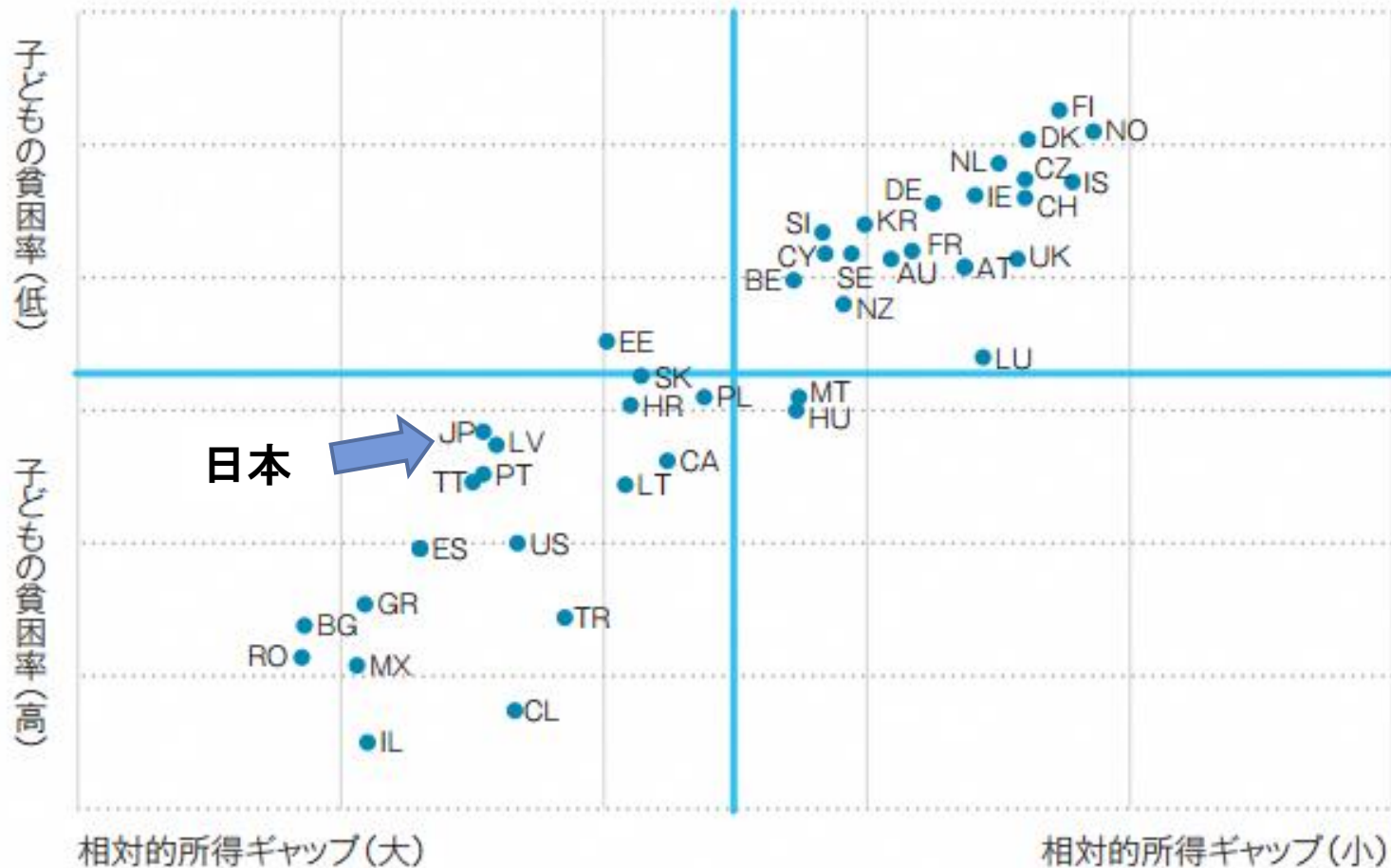


- 相対的所得ギャップ: 底辺の子ども達と平均的な子ども達の格差を測定する指標
- 0～17歳までの子どもを持つ世帯の可処分所得で算出
- 下から10%にあたる子どもの世帯所得は、中央値にあたる子どもの世帯所得よりも何%低いのか？

子どもの貧困率「高」 相対的貧困ギャップ「高」

28

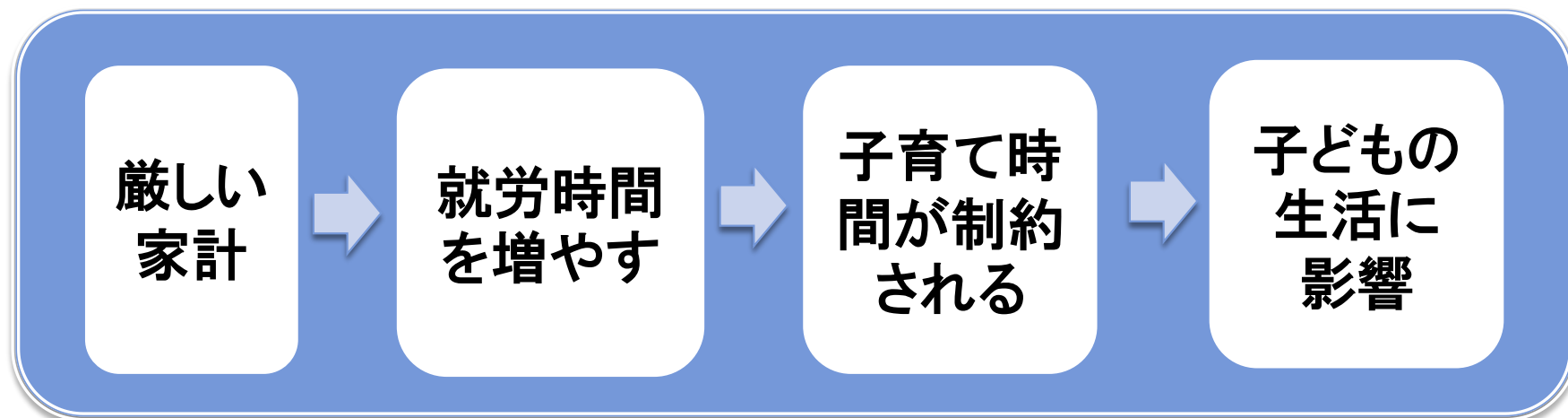
図1：相対的所得ギャップと子どもの貧困率



低所得による貧困の背景のまとめ

29

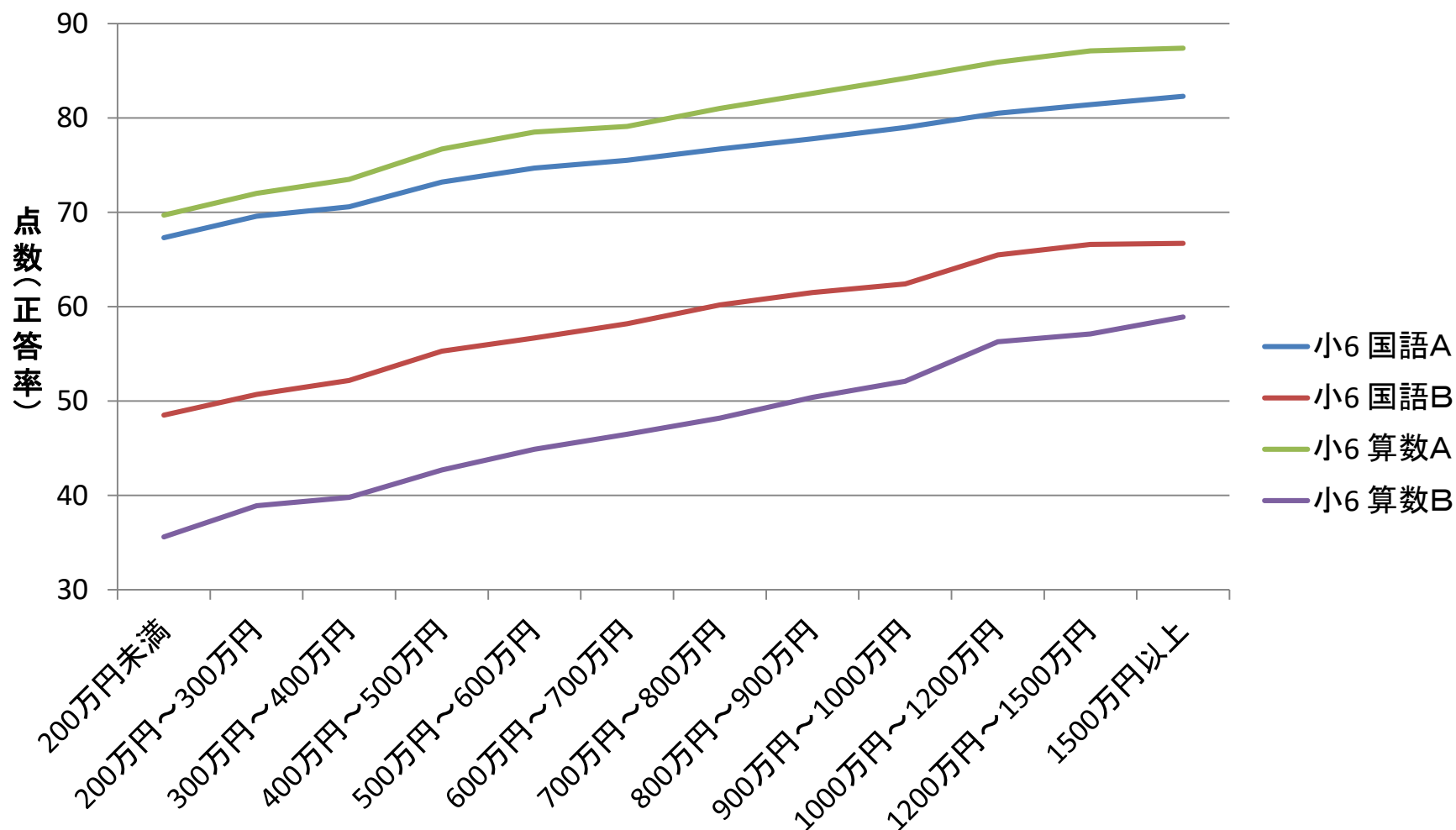
- 賃金・就労収入の低さ
- 雇用・賃金政策の失敗
- 所得再分配の失敗(給付などが不十分)



困窮家庭の子どもたち、保護者の状況

子どもたちの教育には
家庭の役割も重要ですが……

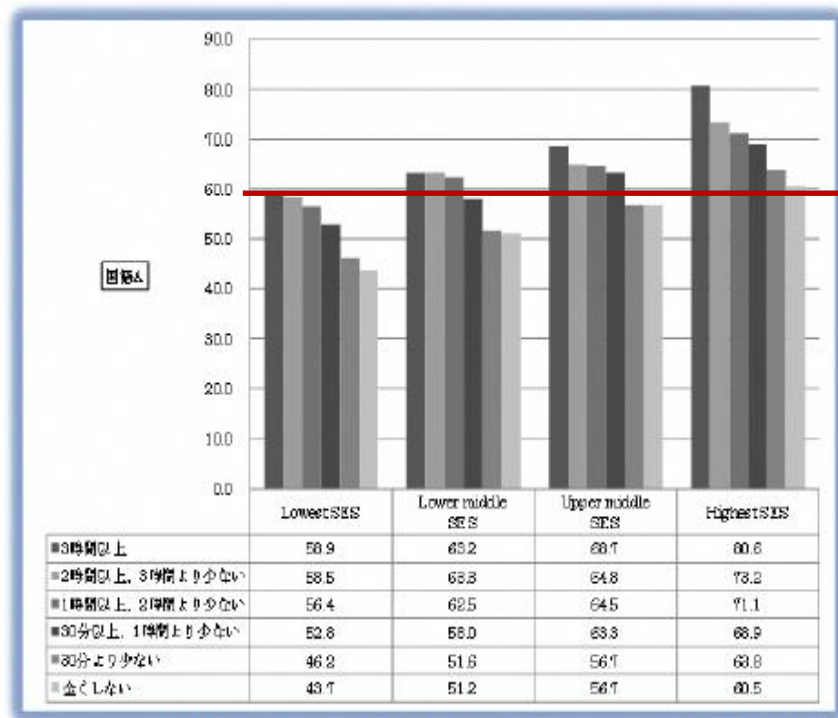
世帯収入(税込み収入)と子どもの学力の関係



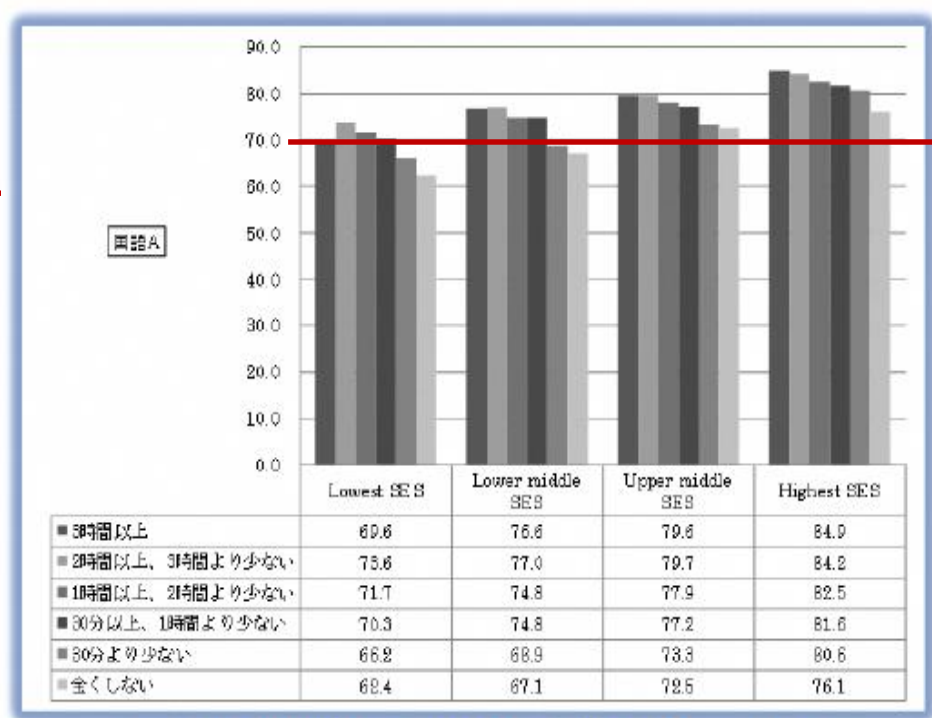
■ 保護者の年収と小6の算数・国語テスト点は比例関係

出所:平成 29 年度「学力調査を活用した専門的な課題分析に関する調査研究」、お茶の水女子大学「保護者に対する調査の結果と学力等との関係の専門的な分析に関する調査研究」p.13より作成

学力は、**努力**によって向上するものの、その効果は**社会経済的背景**の効果を上まわることはない



SES別学習時間と平均正答率(小6、国語A)



SES別学習時間と平均正答率(中3、国語A)

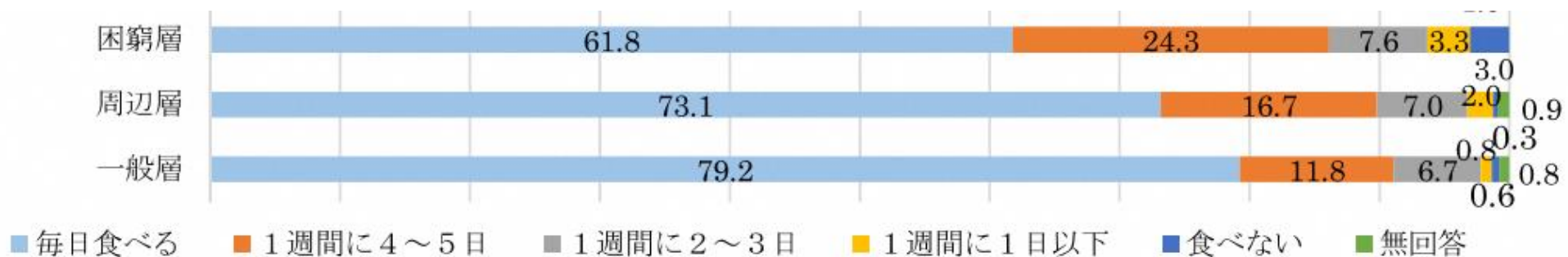
- しかし学習時間の効果は限定的。社会経済的背景がLowest SESの児童生徒が「3時間以上」勉強して獲得する学力の平均値は、Highest SESで「全く勉強しない」児童生徒の学力の平均値よりも低い → 第4章(1) 図表4-1-5~12

栄養 困窮層ほど野菜、たんぱく質の摂取頻度が少ない

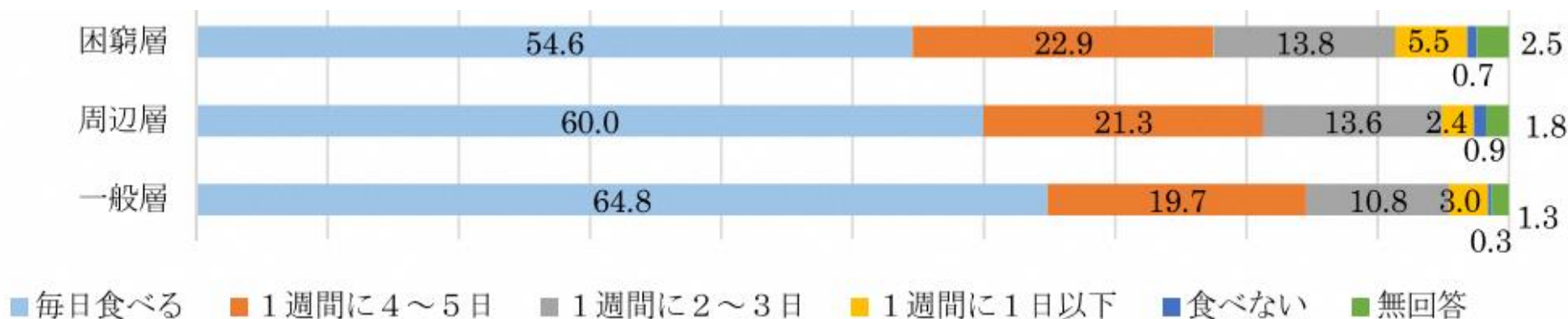
33

東京都(2017)「子どもの生活実態調査」

野菜を食べる頻度(中学2年生)(***)



肉か魚を食べる頻度(中学2年生)(***)

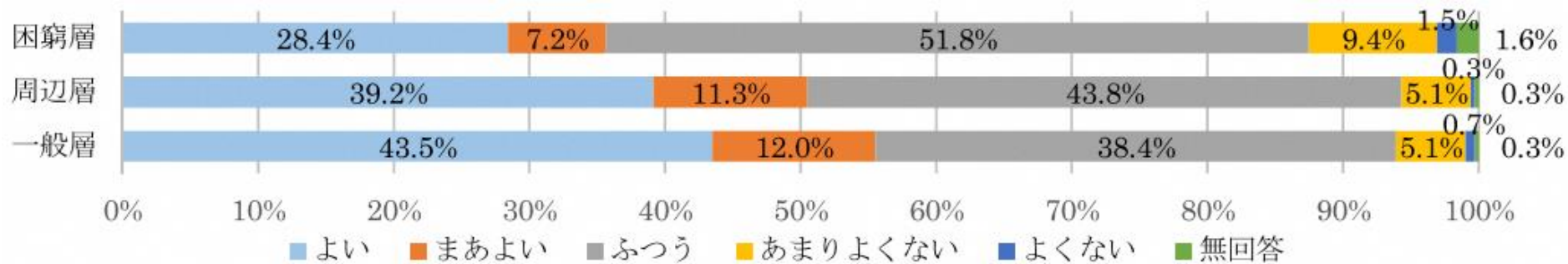


健康 困窮層ほど健康状態が悪い 16-17歳になるとその傾向は顕著に

34

東京都(2017)「子どもの生活実態調査」

自分の健康状態(16-17歳)(***)

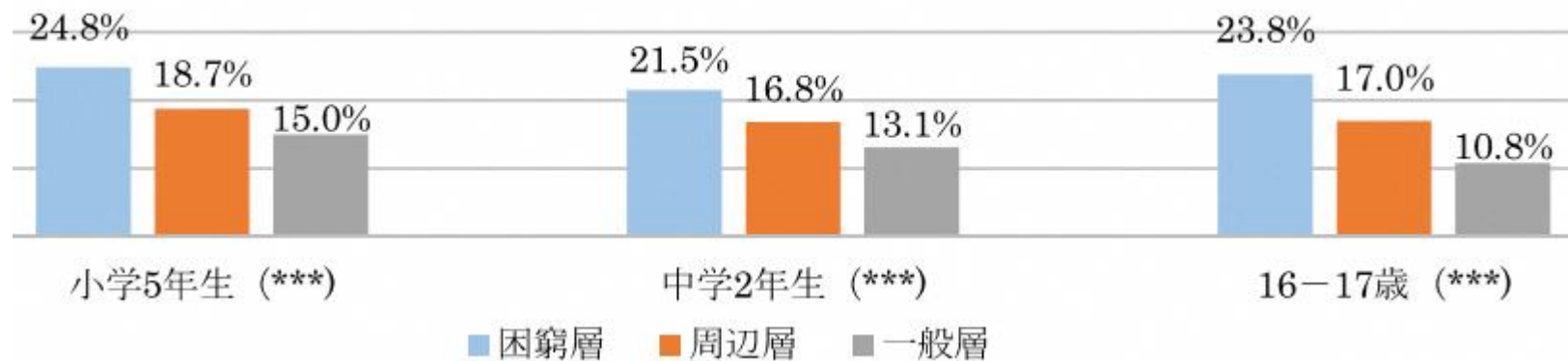


虫歯の本数(16-17歳)(***)



医療 子どもを受診させた方がよいと思ったが、実際には受けさせなかった経験は困窮層ほど多い（4人に1人）

医療の受診抑制(***)



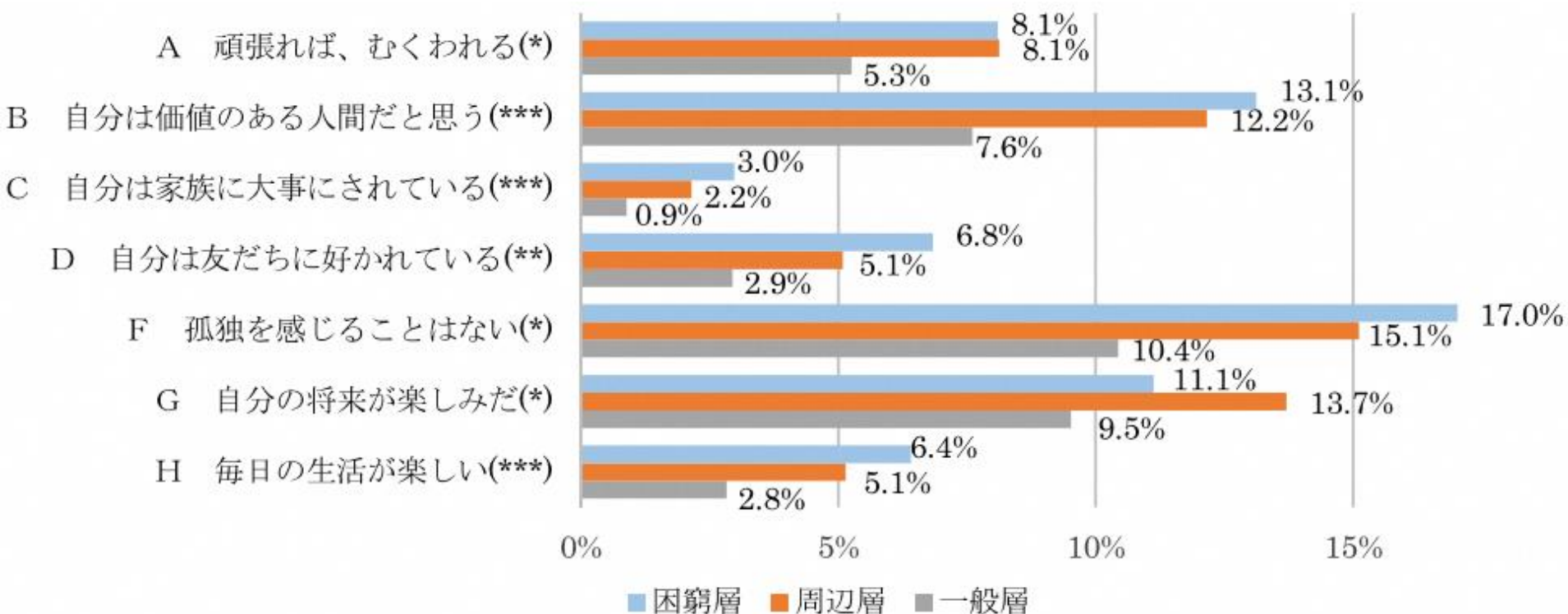
東京都(2017)「子どもの生活実態調査」

自己肯定感 困窮層ほどネガティブ

自分は価値があると思わない 13%

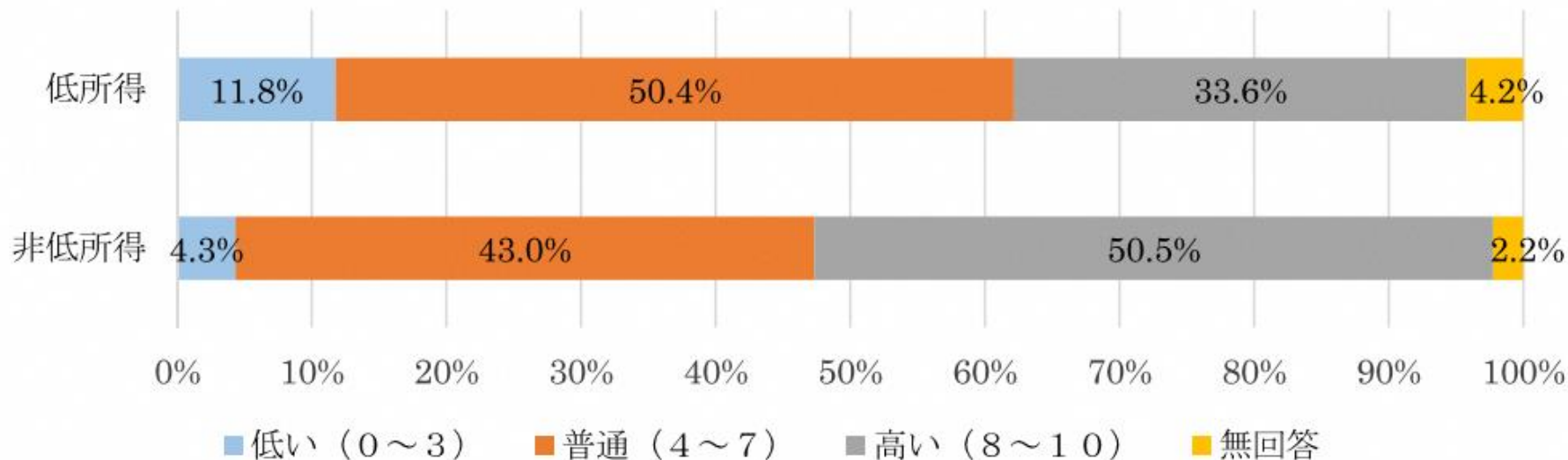
孤独を感じる 17%

自己肯定感 「そう思わない」と回答した割合(16-17歳)



若者の幸福度：所得階層別(***)

37



出所：「子供の生活実態調査：若者（青少年）調査」

対象：東京都内3自治体（八王子市、新宿区、足立区）の

15～23歳の若者本人とその保護者、2200世帯（有効回答率48%）

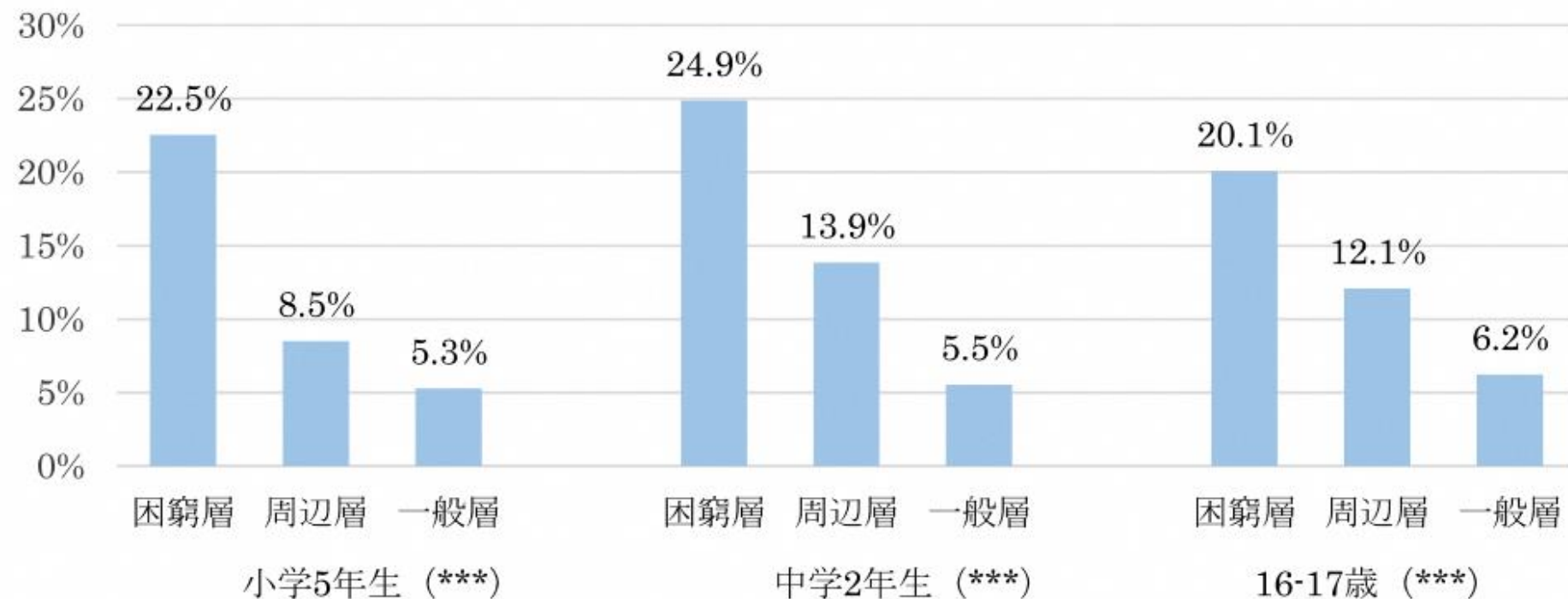
実施時期：2016年5～6月

保護者の孤立

- ・ 困窮層の保護者ほど困ったときに相談できる相手がいない 約2割
- ・ 精神的ストレス、うつ

相談相手がない保護者の割合

東京都(2017)「子どもの生活実態調査」



生活の様々な側面に現れる困難

39

- 学習面：授業理解度、塾、習い事
- 健康状態
- 自己肯定感
- 大人と接する頻度

- 保護者の抑うつ状態
- 保護者の孤立傾向（相談する人がいない）

- 子どもの年齢が上がるほど困難が増す

不利が蓄積する

Part 1. まとめ

40

- 困窮世帯の実態は、全体の平均からは捉えることができない
- 困窮世帯の実態を捉えるには、困窮世帯に注目し、平均的な世帯と比較する必要がある
- 相対的貧困は緊急性を感じにくい、不利が蓄積していく
- 年齢が上がるほど困難が大きくなる
- 保護者も困難のなかにある
- 保護者に時間的、気持ち的余裕がなく、子どもを見てあげられないことは、子どもの不利や自己肯定感に影響する

所得保障

子ども支援

保護者支援

2020年度日野市子どもの貧困に関する職員研修

困窮家庭の子どもたちの 不利を蓄積させないために

PART 2. 予防と対応：各部署でできること

東京都立大学 非常勤講師
小田川華子

2022年12月23日収録

研修のねらい

42

【テーマ】困窮家庭の子どもたちの不利を蓄積させないために

Part 1. 子どもの貧困の現状

- 困窮家庭の子どもを知る
- 困窮家庭の子ども、保護者の置かれている状況を知る

Part 2. 予防と対応：各部署でできること

- 貧困対策における市の役割
- 察知・配慮・支援につなげる
- 連携のしくみづくり

Part 3. 日野市の子どもを取り巻く現状と

第2期日野市子どもの貧困対策に関する基本方針について

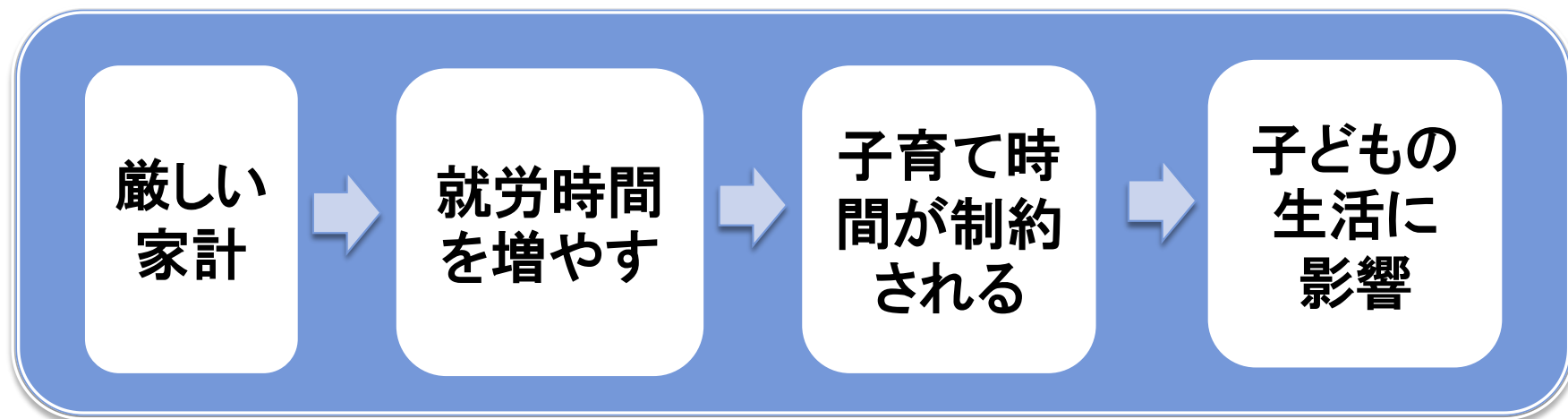
Part 4. 困難な状況にある子ども・家庭への支援の取り組み事例

- 食料を活用してつながり、見守り、地域で子育て

低所得による貧困の背景のまとめ

43

- 賃金・就労収入の低さ
- 雇用・賃金政策の失敗
- 所得再分配の失敗(給付などが不十分)



孤立しがちな困窮家庭

44

- 緊急性を感じにくい、不利が蓄積していく
- 年齢が上がるほど困難が大きくなる
- 孤立傾向・拒否傾向
- 公的機関に相談することが苦手
- 支援関連などの情報を入手することが苦手
- 情報を得たとしても、具体的に動いて対処することが苦手
- 支援につながる前に問題が深刻化してしまうことがある
- 目立つ問題の背景には、複合的な問題がある

貧困対策における市の役割

貧困を生まないセーフティネット施策 (川上対策)

4層のセーフティネット

①労働・雇用	最低賃金・同一労働同一賃金などの労働規制
②社会保険	失業保険【職歴のない若者対象外・給付期間】
③社会手当	家族給付(児童手当等) 普遍的な(所得制限なしの)手当(児童手当等) 普遍的なサービス(医療、保育所等) 奨学金など教育に対する給付 住宅手当【未整備】 給付つき税額控除【未整備】 失業扶助【未整備】 失業保険への扶養家族付加給付【未整備】

④生活保護

所得保障による「防貧」機能の充実が望まれる

47

- 4層のセーフティネット施策の3つめ
③社会手当の充実(国・自治体)

児童手当

奨学金・就学援助

医療費補助

家賃補助



特例給付

特例貸付

生活保護

コロナ対策

【基幹的な課題】

48

現金給付

- ・ 住居確保給付金・生活保護
- ・ 臨時的な給付の支給

ハウジング・ファースト

- ・ 市民をホームレス状態に追いやらない
- ・ 住居を失った人に施設でなく住宅を
- ・ 居住支援(住居探し・入居支援・家賃支援)

学校や児童館等 での子ども支援

- ・ 家庭で学習できない子どもへの学習支援
- ・ 各種費用を賄えない家庭への補助
- ・ SSWと連携しての家庭支援

孤立・虐待予防

- ・ 家庭内のストレスを緩和する居場所支援
- ・ 相談体制の確保
- ・ 地域の団体と協力

セーフティネットの充実(川上対策)

49

1. 子育て世帯への普遍的な現金給付
2. 生活費を圧迫しすぎない家賃の住宅供給
3. 教育現場での防貧施策
 - 学力底上げのための学校等を拠点とするプログラム
 - 高校中退防止策(高1の一学期)
4. 貧困に陥る前の相談援助
5. 虐待・ネグレクトを未然に防ぐ子育て支援
6. 多様な働き方のサポート(就労支援)

貧困家庭への支援策(川下対策)

1. 低所得の子育て世帯への現金給付・税控除
(衣食住・医療・教育)
 - ・ 各種社会手当の拡充、奨学金、医療費補助など
 - ・ 重点:最も低所得(下から10~20%)の世帯、母子世帯、多子世帯
2. 健全に育つための支援
 - ・ 食事(学校・保育園・学童保育等での給食)
 - ・ 居場所(落ち着いて過ごせる場所)
 - ・ 多様な大人に見守られて育つ
3. 親への支援、家庭丸ごと支援
4. 社会的養護の制度の活用
 - ・ 児童相談所を経由して児童養護施設、里親など
 - ・ 15歳以上は自立援助ホーム

【その他の重要課題】

51

支援制度の周知

窓口等の支援スタッフの燃え尽き予防

都・国で対応してもらいたい生活困窮課題の
明確化

【重要】家庭環境の格差を埋めること

52

- 「東横キッズ」・・・家庭環境、親子関係が悪く、家に居られない中高生
- 必要な栄養を(バランスよく)取れていない
- 親が身の回りのことを整えてくれない
- 家では勉強をみてもらえない、塾にも行っていない
- 体験格差(映画・キャンプ・博物館・遊園地等)
- 親に悩みや楽しかったことを話せない
- 朝「いってらっしゃい」と言ってくれる大人がいない
- 大人になっても辛いことばかりありそう
- 将来の選択肢が制限されている

親も子どもも
孤立傾向

親を責めても解決になりません

察知・配慮・支援につなげる

市の各課窓口で
困窮家庭の子ども・保護者を察知し
配慮し
支援につなげる

早期把握・早期対応の重要性

54

- 虐待が起こったり、子どもが非行に走ってしまってから対処するのは非常に困難
- 問題が大きくならないうちに対処するのが肝心



「見逃さない」努力
「気になる」を「放置しない」努力

そのためには・・・

- 丁寧に支援するためのマンパワー不足の課題

各課窓口に期待される察知機能

55

□ 納税課・保険年金課等

□ 滞納

□ 減免申請 ⇒

「生活でお困りのことについて
セーフティネット・コールセンターで
相談をお受けしているので
相談してみてもいいかでしょうか？
おつなぎしますよ。」

□ 児童館・公民館・図書館

□ 「この子(親子)少し気になるな」⇒ 話しかけてみる

様子の観察から困窮を察知する

56

乳幼児健診での着眼点

【母子の様子】

オムツの様子(交換の間隔をあけすぎているか)／身なり、適度に洗濯された衣服を着ているか／赤ちゃんをくるむバスタオルの様子／におい(身体を洗ってあげているか、口臭、たばこ臭)／落ち着いて順番を待っているか／子どもへの接し方(声かけをしているか、目を合わせているか、子どもの反応に対応しているか、乱暴な接し方をしていないか)／傷やあざ

【問診等での聞き取り】

視線が合うか、表情変化があるか(対人関係スキル)／会話が成立するか／保健師の観察と母親の返答の仕方がずれていないか(例:明らかに子どもに関わっていない様子であるのに「大丈夫です」と言う)

【健診】

発育の状況／歯磨きの習慣がついているか／口の中の様子、虫歯の数(3歳歯科健診)

子どもの貧困をとらえる保健師のまなざし調査(2017年実施)より

面談・対話で生活状況を把握する

57

- 「妊婦面談をするようになったことで、支援の必要な妊婦を把握できるようになった」(保健師)
- 面談前アンケートを用いて、経済的困窮や要支援の程度をアセスメント
- 面談の際に意図的な質問をするための手掛かりとなるようにアンケートを設計
 - ▣ 育児協力者、育児に関する相談相手の有無
 - ▣ 子育てをしているときの気持ち
 - ▣ 生活をしているなかでの経済的な不安
- 対話をする必然性／対話を受け入れられる関係性
 - ▣ 必然的に顔を合わせ、対話をし、関係を築ける場をどうつくるか

ポピュレーション・アプローチと ハイリスク・アプローチを組み合わせる

58

ハイリスク
アプローチ

多機関連携体制でケース化

単独機関でケース化

【把握】

専門職による
個別相談・個別訪問

【支援】

電話訪問

専門職による
定期的な相談の場

全員への個別面談、健診等

ポピュレーション
アプローチ

誰でも自由に参加できる支援事業(子育て広場など)

ポピュレーションアプローチ・プログラムのスタッフに期待される対話スキル

59

- 支援プログラムの場は困窮(要支援)ケースを把握し、また、フォローする絶好の機会
- 支援プログラムを担当するすべての職種のスタッフが対話によって関係性を築くスキルを高める



- 支援プログラム全体を通してのアセスメントの精度が上がる
- 相談してもらえやすくなる
- 支援の糸口をつかみやすくなる

連携のしくみづくり

他機関と連携して家庭まるごと支援を

61

連携の仕組み・役割分担を明確に

児童館・
学校・幼稚園・
保育園

個別の支援計画
が必要な場合も

スクール・ソーシャル
ワーカー
その他

社会福祉法人
NPO法人
ボランティア団体
など

地域の
支援活動

- ・居場所支援
- ・学習支援
- ・フードバンク etc.

市の
関係部署

- ・給付等の手続
- ・障がい者支援関連の手続
- ・母子専門の相談員 etc.

地域の関係機関との連携

62

- 地域の関係機関の職員が知り合っておくことで、支援の可能性を広げられる
 - 市の支援職が社協に協力依頼⇒生活環境を人間らしく
 - 保育園、児童館「気になる」⇒保健師につなぐ
- 本人にとって身近な関係機関は？
 - 本人にとって行きやすい場所で面談
 - 本人がつながろうという気持ちの持てる関係機関が状況把握
- 関係機関のスタッフの顔の見える関係

経済的な支援につなげる

63

- 支援者が給付や貸付制度についてよく知っておく
- 相談が苦手、コミュニケーションが苦手、対人緊張、行政に対する不信、諦め等がある人には、制度等の窓口を紹介するだけでは不十分
- 同行して、制度担当者に本人の困難を整理して伝えるアドボカシーのスキルも必要
- 支援者がこういった寄り添い型の支援ができることを本人たちに知ってもらうことが大事。

申請主義の壁を寄り添い型支援で克服

給付や貸付窓口担当者への期待

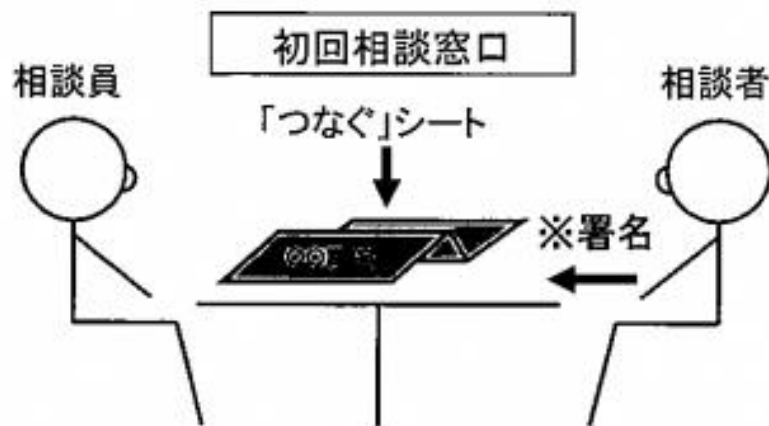
64

- 保健師、スクール・ソーシャル・ワーカー、民間の支援団体等の働きについて知っておきましょう。適切なタイミングで連携支援が可能になります。
- 受給要件に当てはまらない場合でも、「受給要件にあてはまりません」で終了せず、
- まずは、来所した方の不安や愁訴を受け止める相談援助を。
- そして、しかるべき担当課につなぎましょう。

つなぐシート(足立区)

65

「お一人で悩んでいるとお辛いと思います。
一人で悩まずに、まずは(適したところ)にご相談してみませんか。
誰かと相談しながら、解決の道筋を一緒に考えていくのがいいの
ではないでしょうか。」(＝孤立させない)



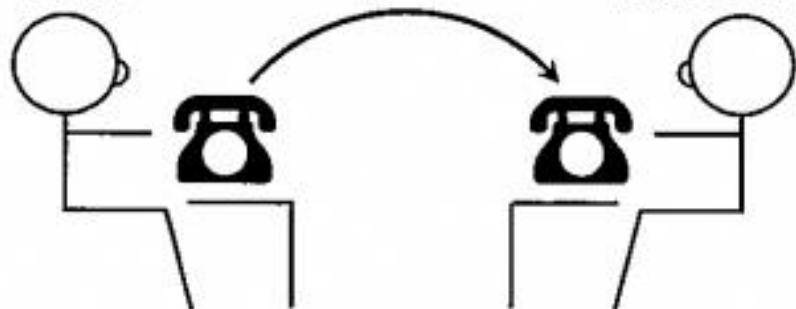
- ▶ 生活の状況、困りごとの状況を聞き取り、面談票(つなぐシート)に記入する
- ▶ 相談員の主観は書かない
- ▶ 他部署・関係機関の支援が必要そうと判断した場合、本人の同意を得たうえで、シートの署名欄に署名してもらう

つなぐシート(足立区)

66

相談員

連携先の窓口担当

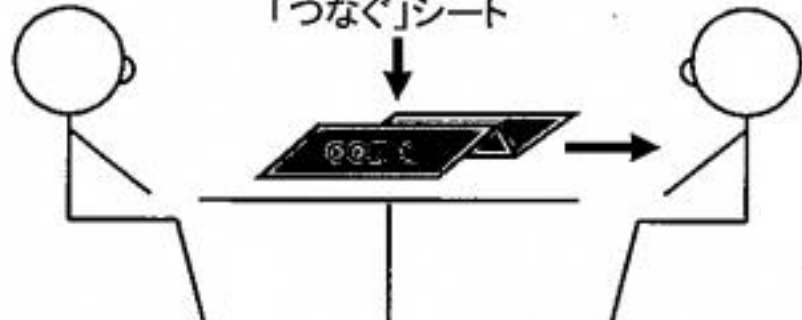


- ▶ 案内する連携先窓口で電話連絡し、相談受任の確認を必ず取り付ける
- ▶ 相談者の都合に配慮し、相談日時を決める

相談員

相談者

「つなぐ」シート



- ▶ 相談日時と連携先窓口担当者の名前を明確にし、相談者に伝える。
- ▶ シート原本: 相談者
- ▶ コピー①初回相談受付部署
- ▶ コピー②くらしとしごとの相談センター

つなぐシート(足立区)

67



- 連携先窓口はつなぐシートを参考に対応する。
- さらに連携が必要な場合は、次の連携先に案内する。

つなぐシート活用のメリット

相談者のメリット

- 相談場所・担当者が明確
⇒安心してすぐに次の相談ができる
- 相談者の情報が確実に伝達
⇒「同じ話をしなくてもすむ」相談者の負担が減る
- 複数の相談員が支援
⇒「多くの問題を一人で抱えている」孤立感が軽減

支援者のメリット

- 相談の経過と内容が明確に
⇒相談員の負担軽減
- 相談結果を集約し事例を共有化
⇒相談員のモチベーションを高める
- 区民の多くが抱える問題と連鎖が浮き彫りになる
⇒今後の対策に活用

困窮家庭・子ども支援

69

経済的支援
物価高への対策



人を通しての
支援

Part 2. まとめ

70

- 「気になる」を放置しない⇒職員間で確認⇒対応
- 子どもや保護者と対話することで生活が見えてくる
- 受容・傾聴（責めない）
- 関係性を大事にした対話・介入
- 面談前アンケートを効果的に活用する
- 「本人がつながれる人」を増やす
- ポピュレーションアプローチとハイリスクアプローチの組み合わせで、孤立傾向、拒否傾向、SOSを出さない困窮家庭の把握、支援をする
- 多機関で連携して家庭まるごと支援する
- 丁寧な寄り添い型の支援をするための人員確保は？

71

ご自身の持ち場でどのようなことができるでしょうか？

ご清聴ありがとうございました。

2022年度日野市子どもの貧困に関する職員研修

困窮家庭の子どもたちの 不利を蓄積させないために

PART 3. 日野市の子どもを取り巻く現状と
第2期日野市子どもの貧困対策に関する基本方針

セーフティネットコールセンター
地下有可里

2022年12月23日収録

研修のねらい

73

【テーマ】困窮家庭の子どもたちの不利を蓄積させないために

Part 1. 子どもの貧困の現状

- 困窮家庭の子どもを知る
- 困窮家庭の子ども、保護者の置かれている状況を知る

Part 2. 予防と対応：各部署でできること

- 貧困対策における市の役割
- 察知・配慮・支援につなげる
- 連携のしくみづくり

Part 3. 日野市の子どもを取り巻く現状と

第2期日野市子どもの貧困対策に関する基本方針について

Part 4. 困難な状況にある子ども・家庭への支援の取り組み事例

- 食料を活用してつながり、見守り、地域で子育て

本日お話すること

日野市の子どもを取り巻く現状

日野市における子どもの貧困の重要課題

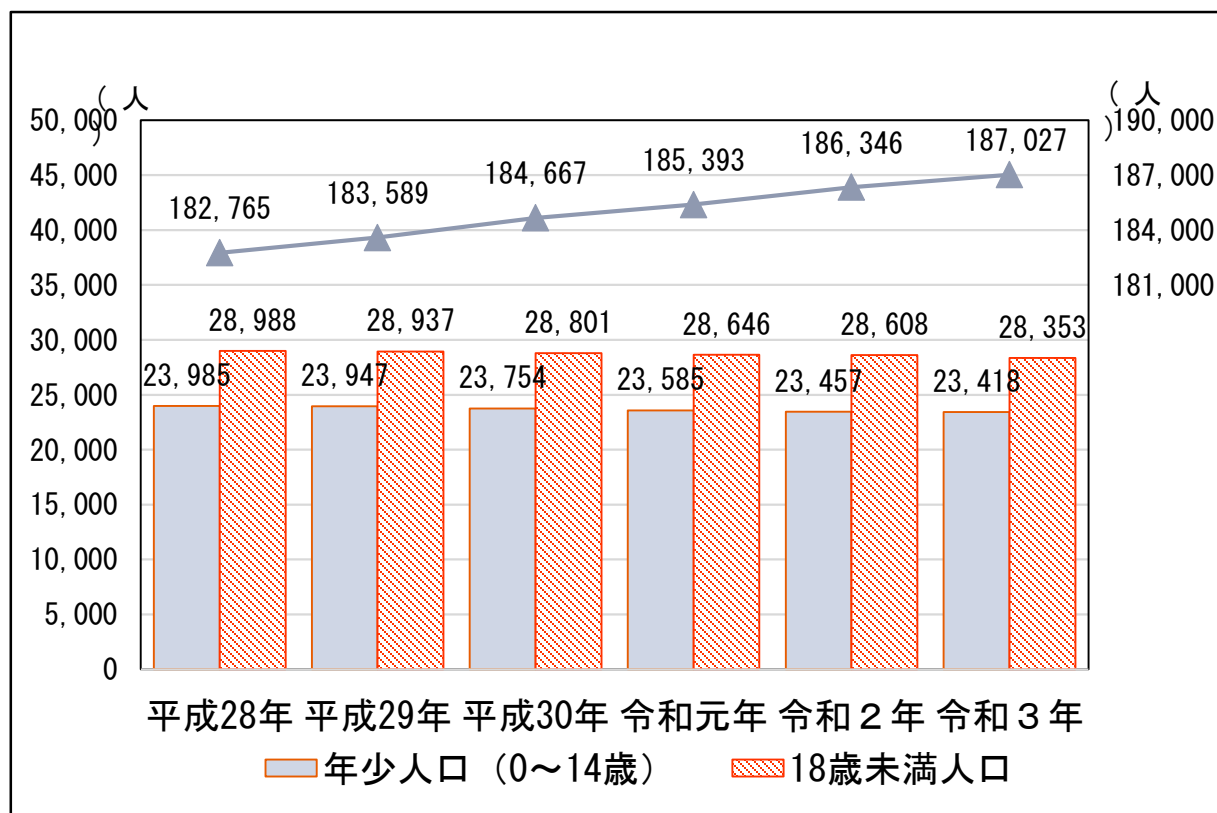
目指すべき姿と基本的な方向性、施策

貧困対策を進めるためには



日野市の子どもの人口

→ 日野市の年別総人口、年少人口及び未成年人口の推移



資料 日野市市民窓口課（各年1月1日の数値）

総人口増加の一方で、年少人口及び未成年人口は横ばい



日野市の子どもの貧困率

→ 日野市の子どもの貧困率

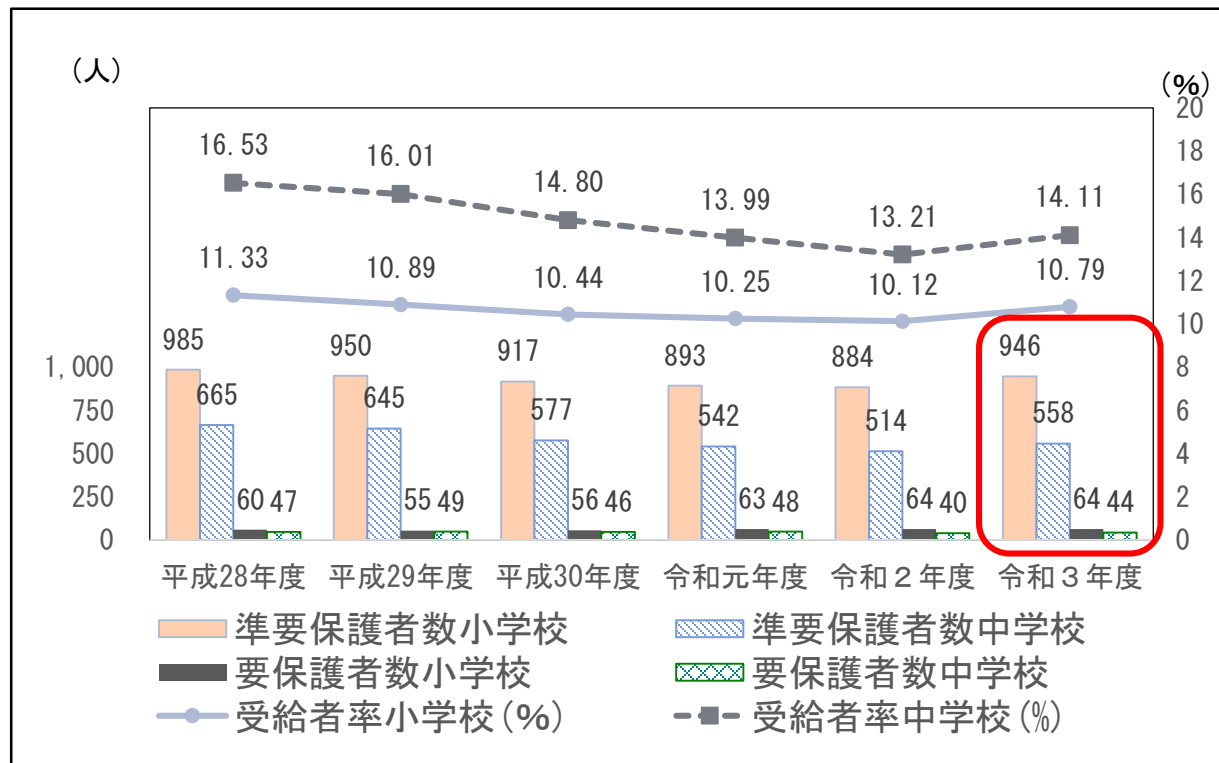
	日野市 (※3)		国（参考） (※4)
	今回（令和2年）	前回（平成27年）	平成30年
相対的貧困率	12.3%	13.4%	15.4%
子どもの相対的貧困率（※1）	6.3%	7.4%	13.5%
18～64歳の大人が1人の世帯の 世帯員の貧困率（※2）	33.9%	37.2%	48.1%
相対的貧困線（貧困基準）（※5）	127.6万円	-	127万円

資料：日野市セーフティネットコールセンター

日野市の相対的貧困の子どもは1クラス（30人の場合）に
約1～2人の割合であり、国の水準より少ない

要保護者及び準要保護者の人数及び就学援助受給者率

→ 要保護者及び準要保護者数の就学援助受給率の推移

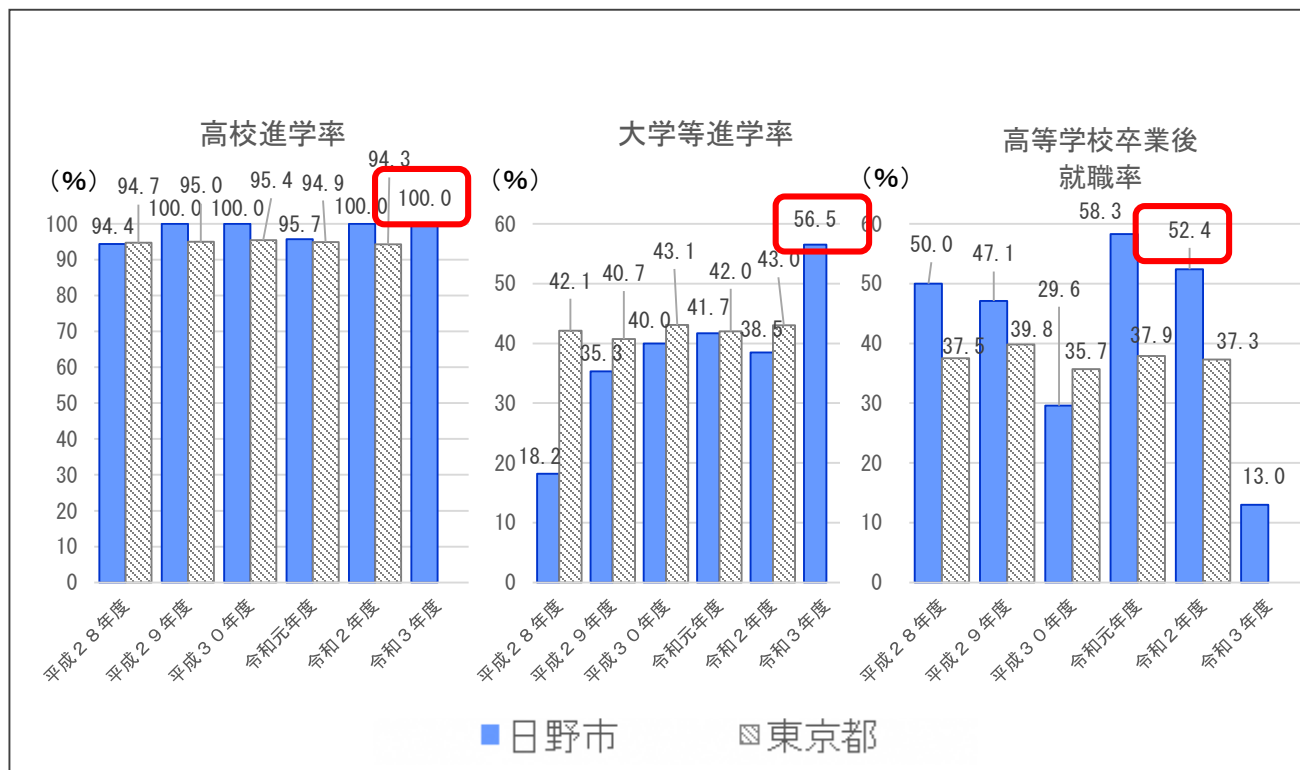


資料 日野市庶務課

- ・「準要保護者」の人数は令和2年度まで減少傾向であったが令和3年度は増加に転じた
- ・「要保護者」の人数は令和3年度まで横ばい状態となっている

生活保護世帯の子どもの進学率及び就職率

→ 進学率及び就職率



資料 日野市生活福祉課（数値は各前年度末）
東京都は厚生労働省社会・援護局調べ

- ・ 生活保護世帯のほぼ全員が高等学校に進む
- ・ 高校卒業後は、進学と就職がほぼ半数ずつ



日野市の小中学校におけるいじめ・不登校の状況

→ 日野市の小中学校におけるいじめの認知件数・不登校件数

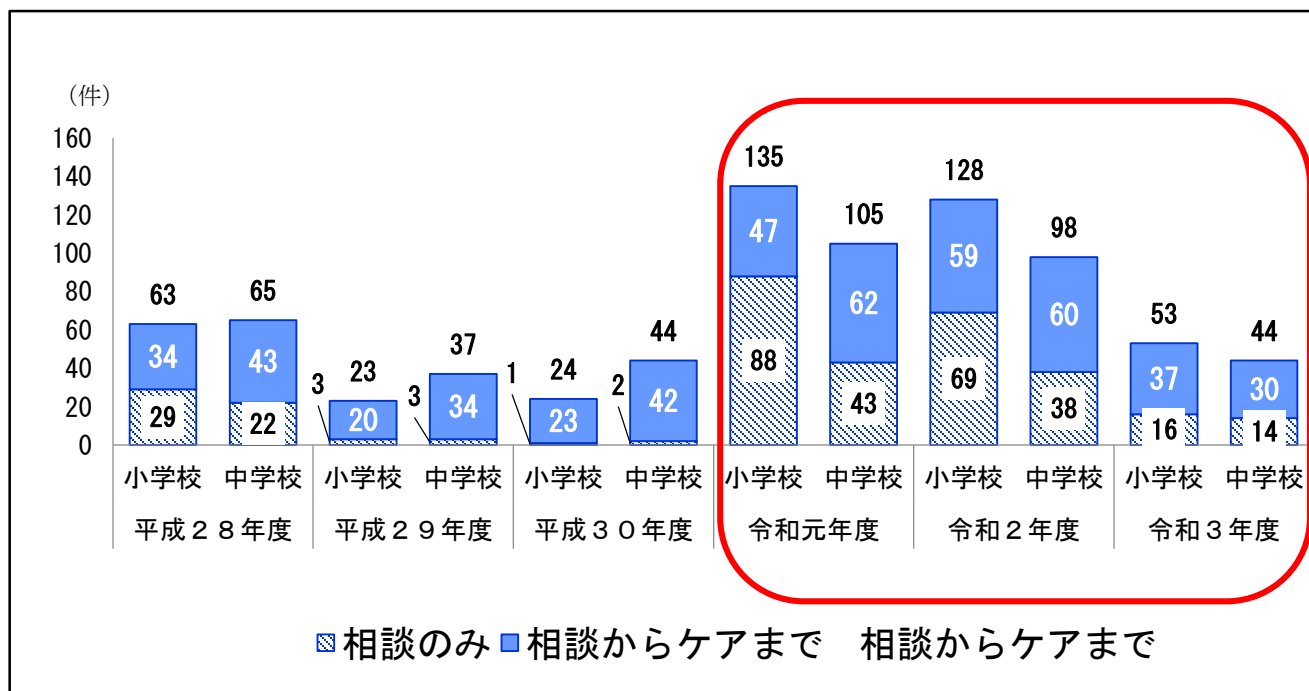
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
いじめ	小学校	212	188	718
	中学校	106	98	194
不登校	小学校	93	103	126
	中学校	184	189	258

資料 日野市学校課（各年度末現在）

いじめは認知方法の定着により小・中学校で増加
不登校は中学校で大きく増加

スクールソーシャルワーカー相談件数

→ スクールソーシャルワーカー相談件数の推移



資料 日野市発達・教育支援課

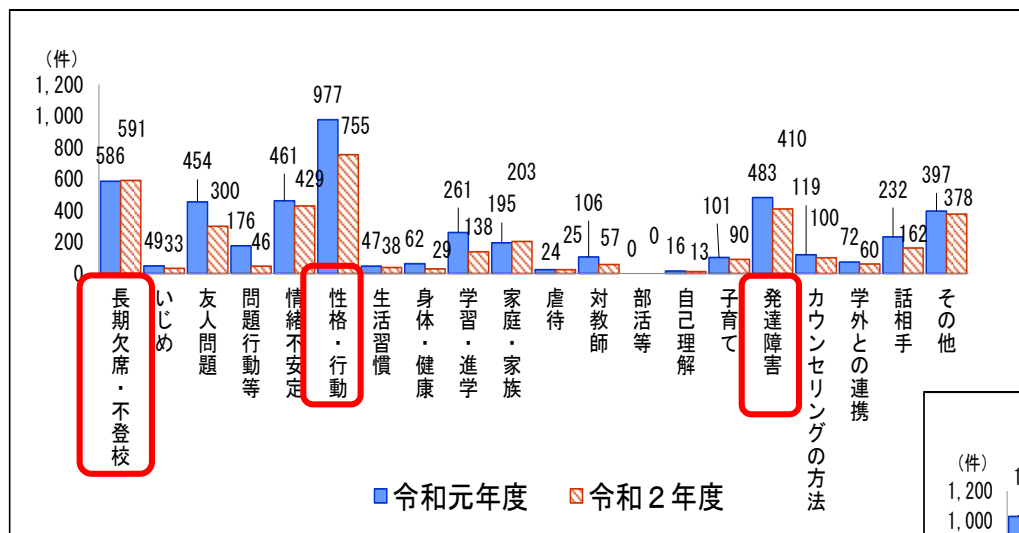
スクールソーシャルワーカーの配置学校数及び相談件数は令和元年度・令和2年度で増加していたが、令和3年度は減少



日野市の子どもを取り巻く現状

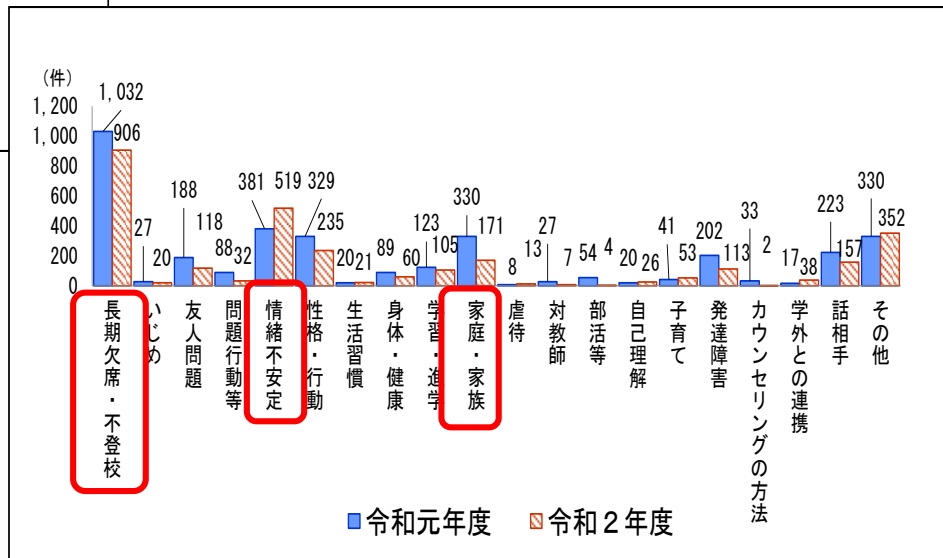
スクールカウンセラーへの相談

→ 小・中学校のスクールカウンセラーへの相談内容と件数



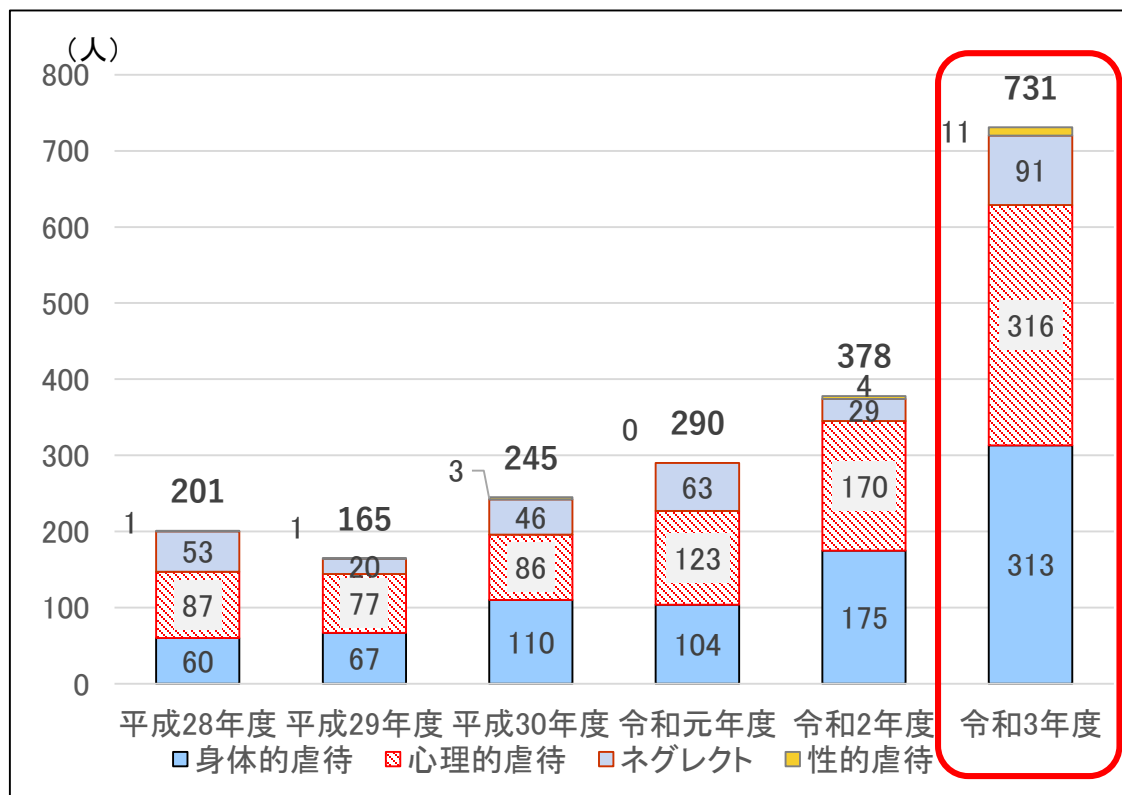
スクールカウンセラーへの相談内容は
小学校と中学校で異なる

中学校におけるスクールカウンセラーへの主な相談内容とその件数



児童虐待の状況

→ 児童虐待に関する相談件数の推移



資料：日野市子ども家庭支援センター

虐待相談件数はここ数年で大きく増加

生活困難度別 子どもの状況

日野市子どもの生活実態調査(令和3年実施)

調査の概要と生活困難度

- 生活困難度は、①収入、②家計の逼迫、③子どもの体験や所有等の欠如から導き出す指標

「生活困難層の定義」

・生活困難度の区分は、①収入 ②家計の逼迫 ③子どもの体験や所有等の欠如のうち

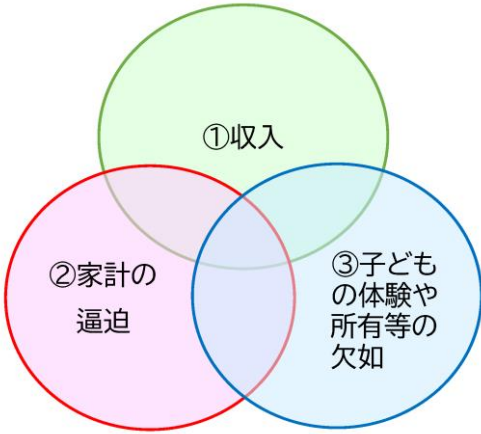
2つ以上該当するものを「困窮層」

1つ該当するもの「周辺層」

該当しないものを「一般層」

生活困難層

「困窮層」と「周辺層」を合わせて「生活困難層」

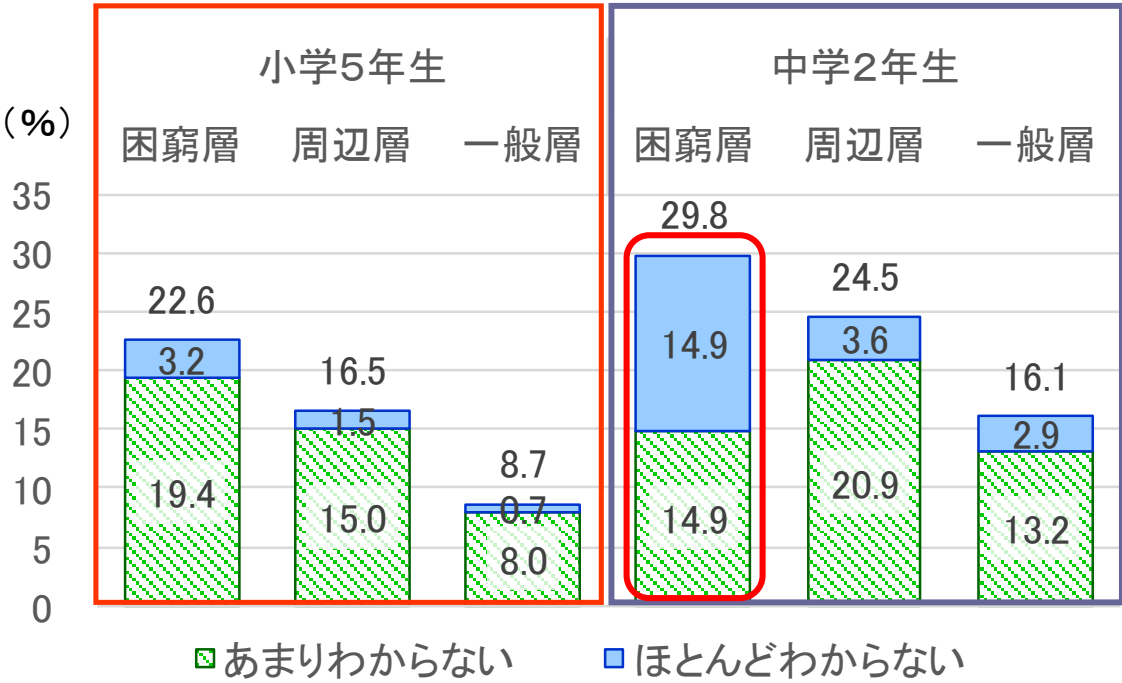


	小学生	中学生	16～17歳
困窮層	2.6%	4.4%	4.3%
周辺層	11.1%	10.3%	11.2%
合計 (生活困難層)	13.7%	14.8%	15.4%

困窮層・周辺層の割合

学校の授業の理解度

→ 学校の授業の理解度

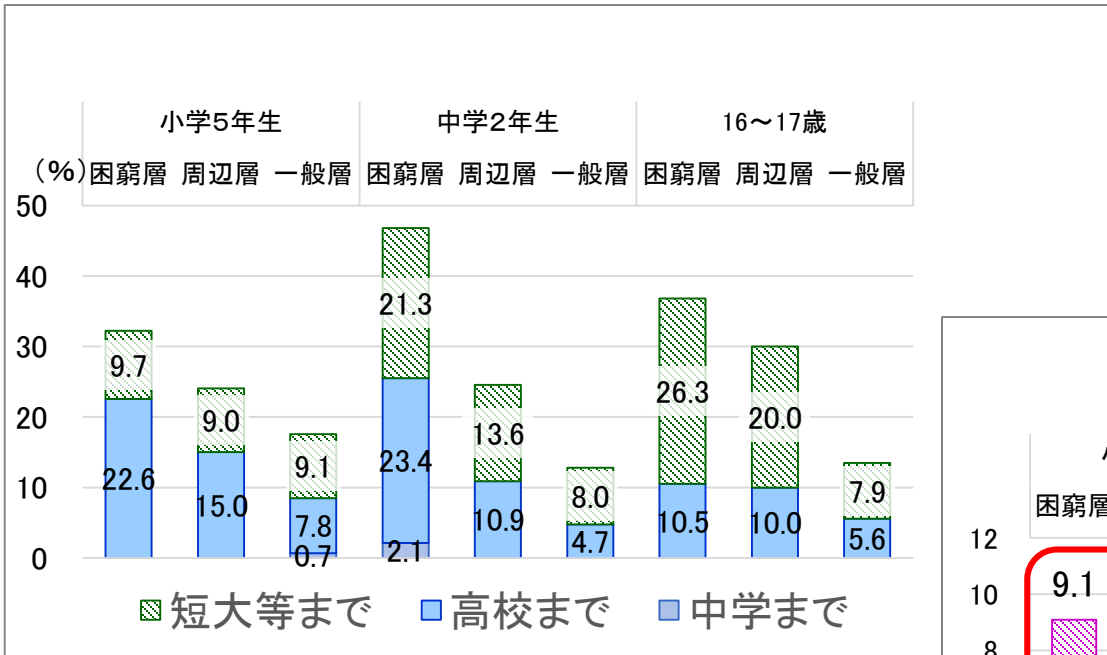


中学生の困窮層は「ほとんどわからない」が多い



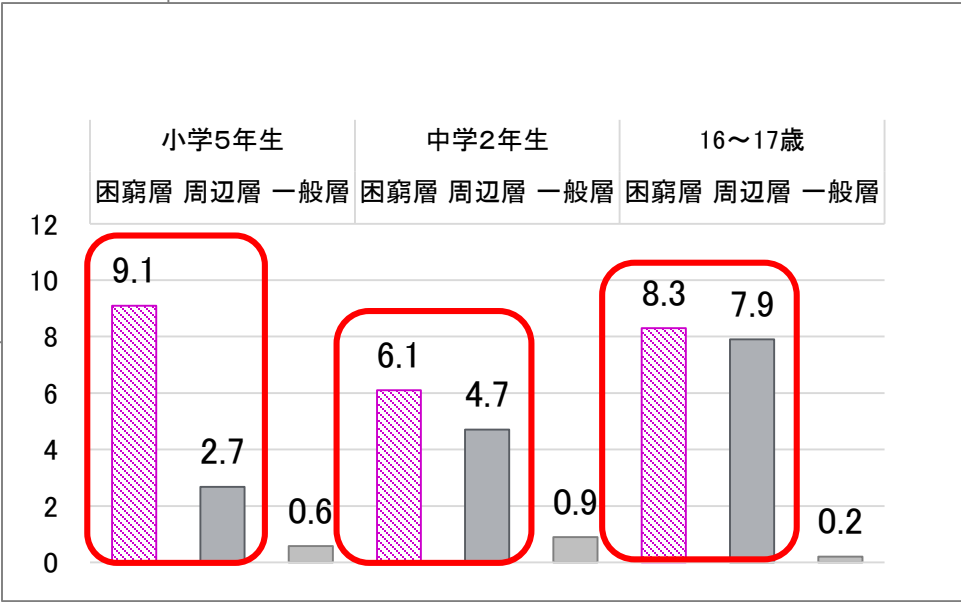
子ども本人の進路意向

→ 進路の意向(短大までの方の割合)



困窮層は「中学まで」「高校まで」の割合が多く、困窮層、周辺層は「家にお金がないから」の割合が多い

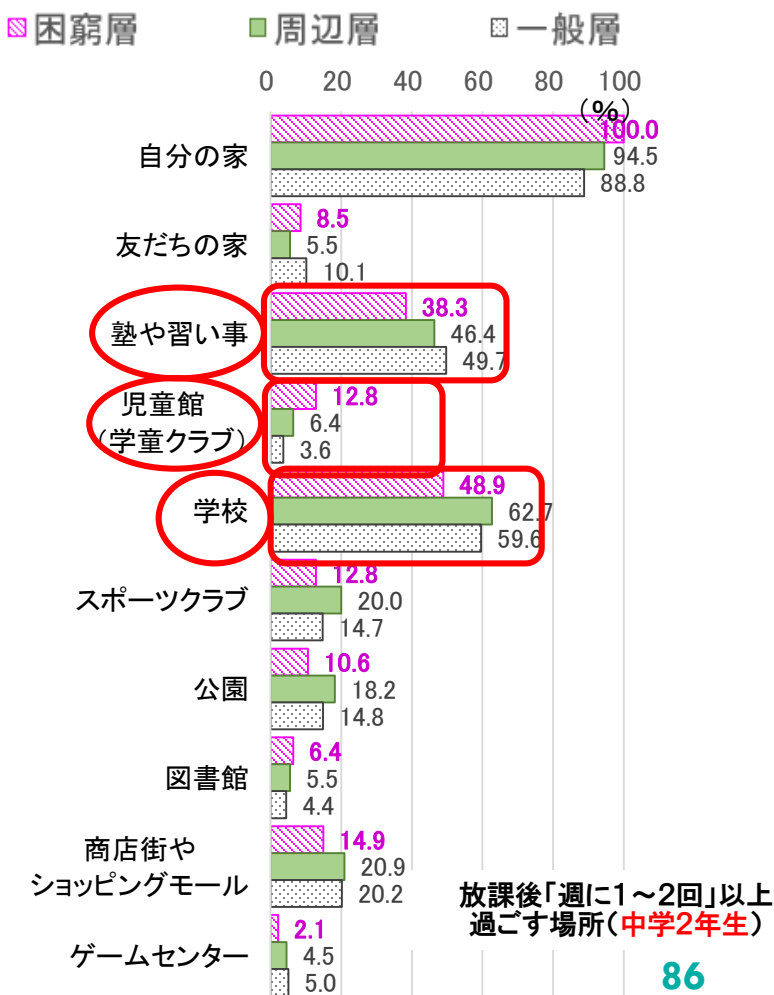
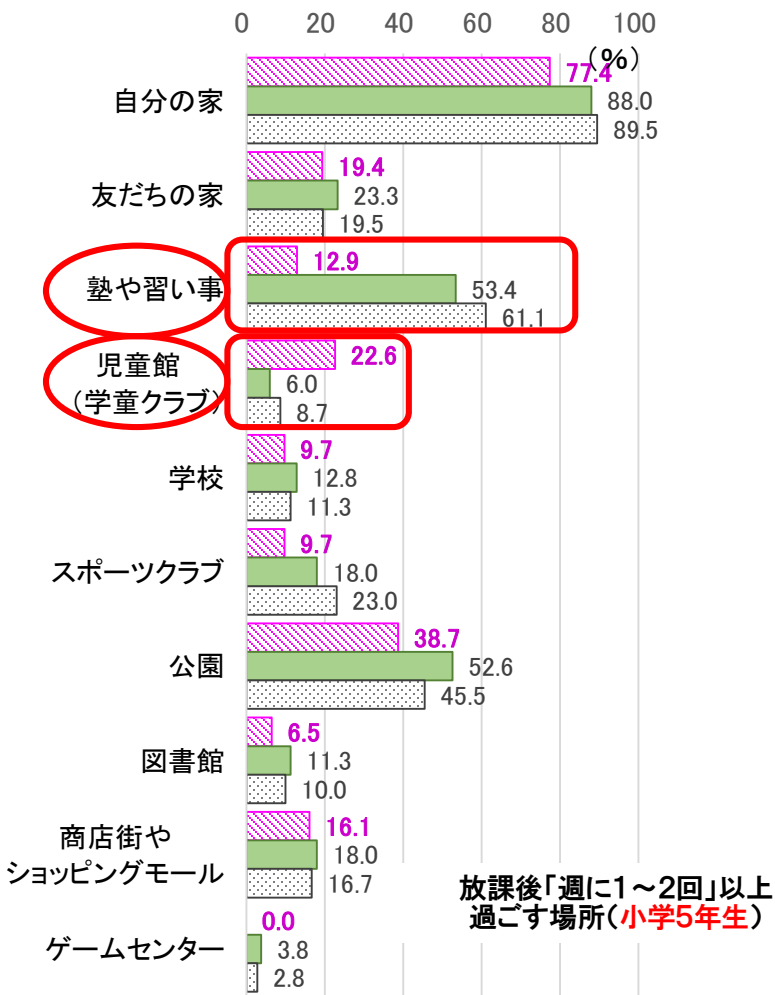
→ 「家にお金がないと思うから」進学しない人(進学が高校以下)の割合





放課後の過ごし方

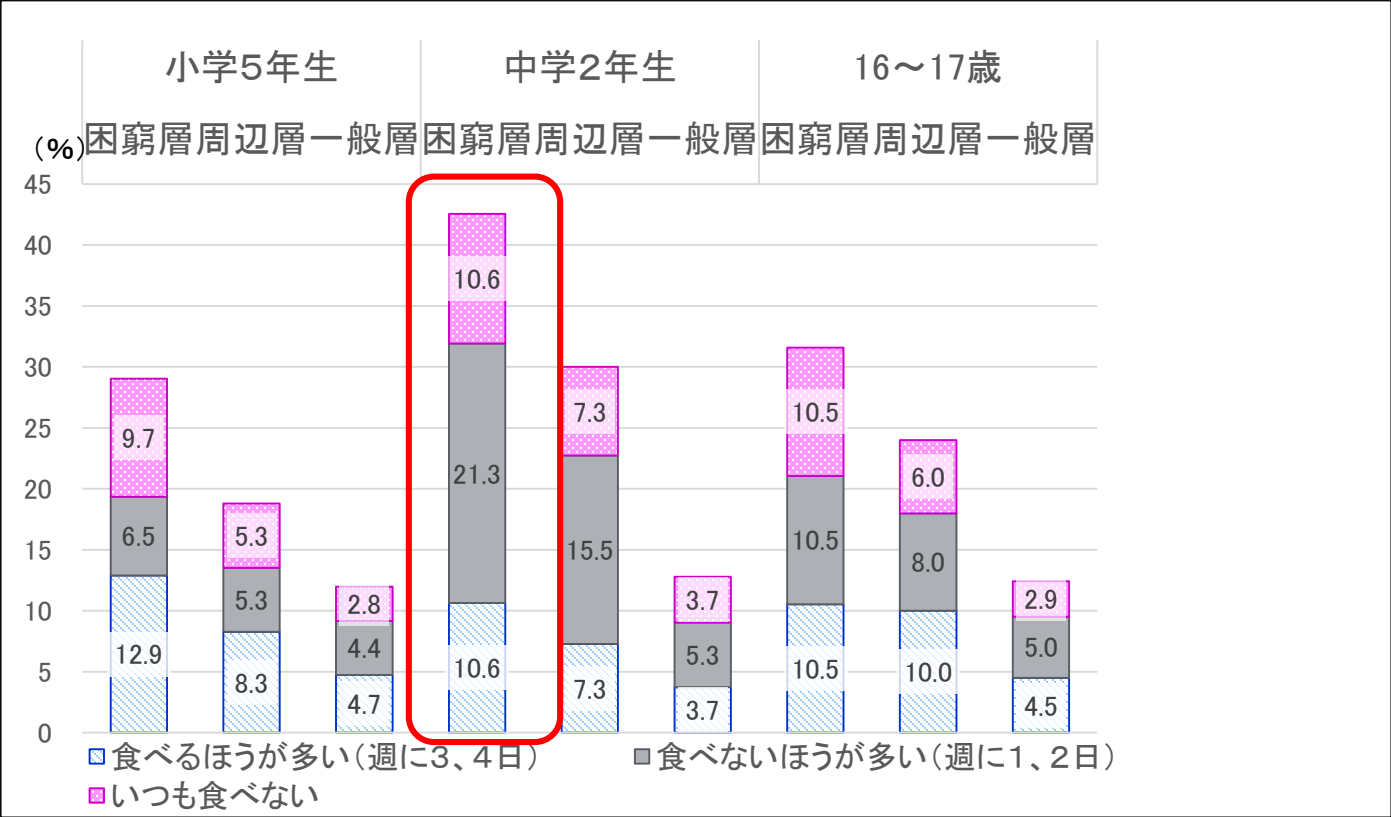
困窮層では「塾や習い事」の割合が低い





朝食の状況

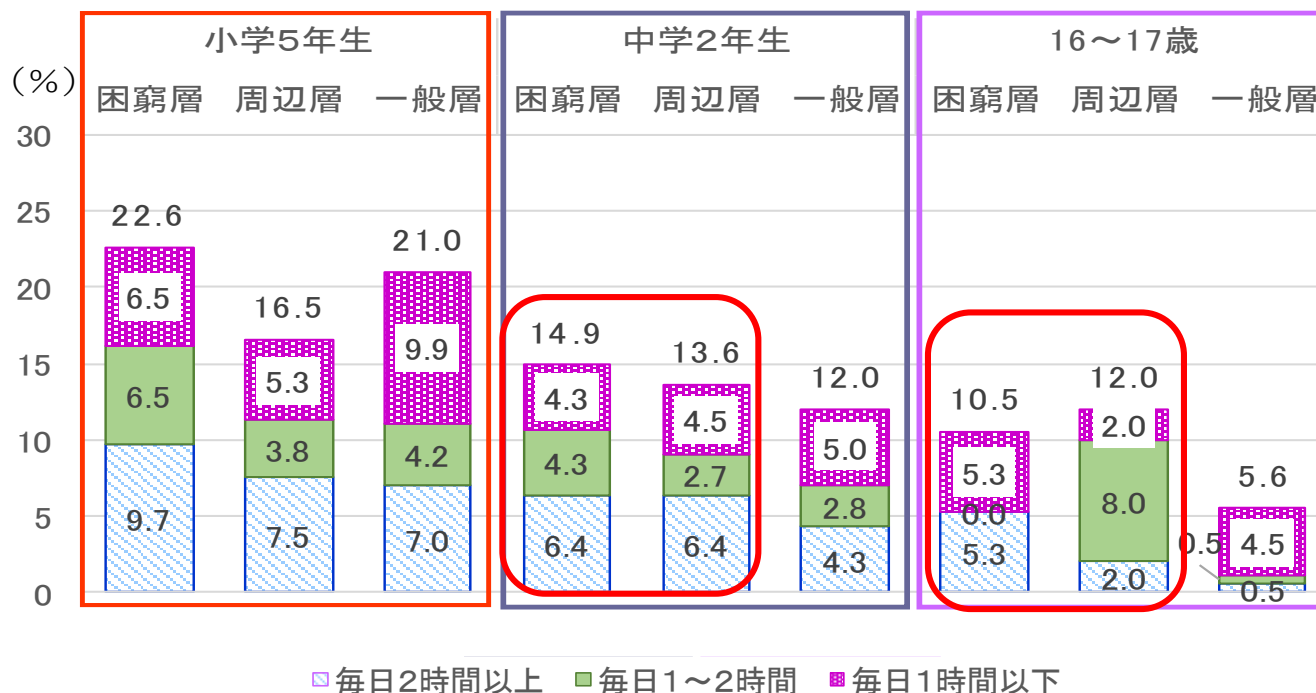
➡ 朝食をあまり食べない、食べない人の割合



困窮層では「いつも食べない」が多い

ヤングケアラーの状況

→ きょうだいの世話や祖父母の介護をする人の割合



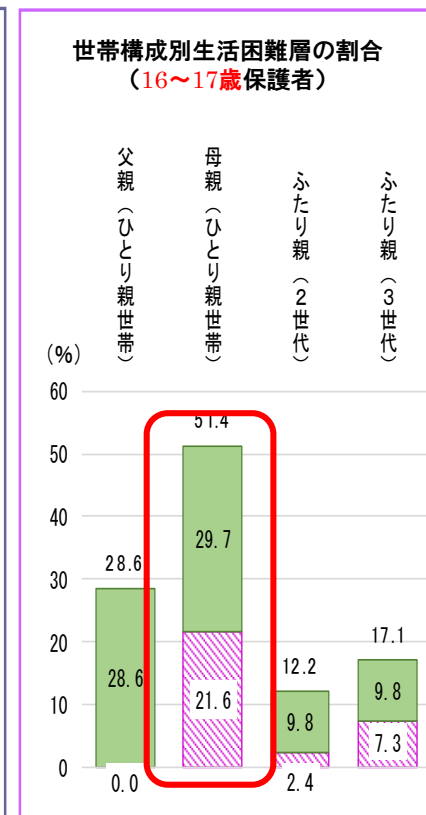
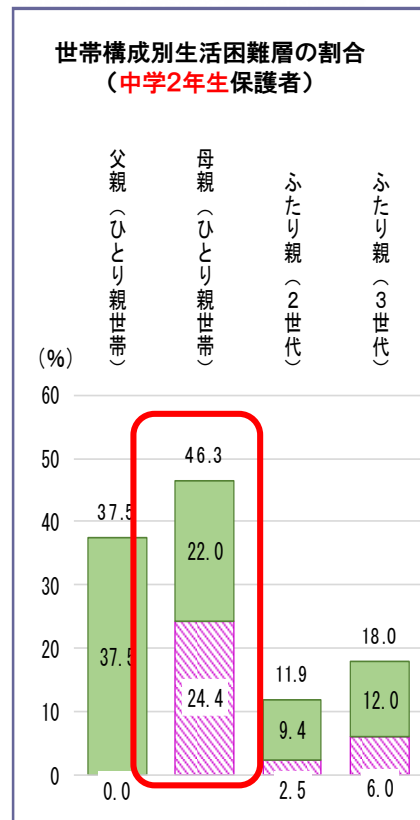
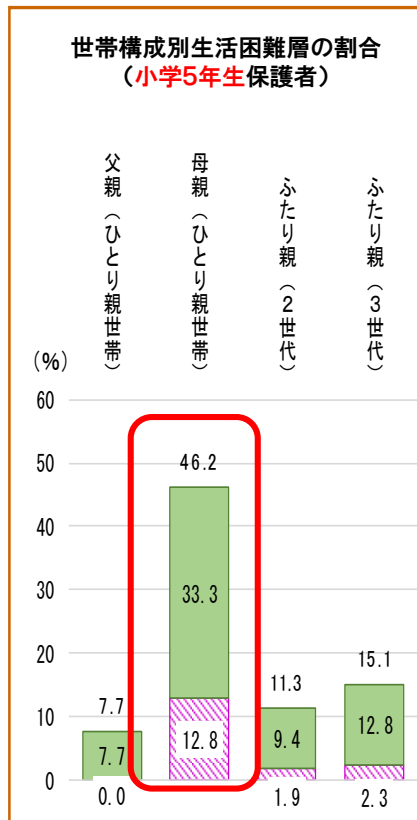
困窮層・周辺層は一般層に比べて、
「毎日、きょうだいや祖父母の介護」をする人の割合が高い



経済状況や保護者の状況について

→ ひとり親家庭の状況

■ 困窮層 ■ 周辺層

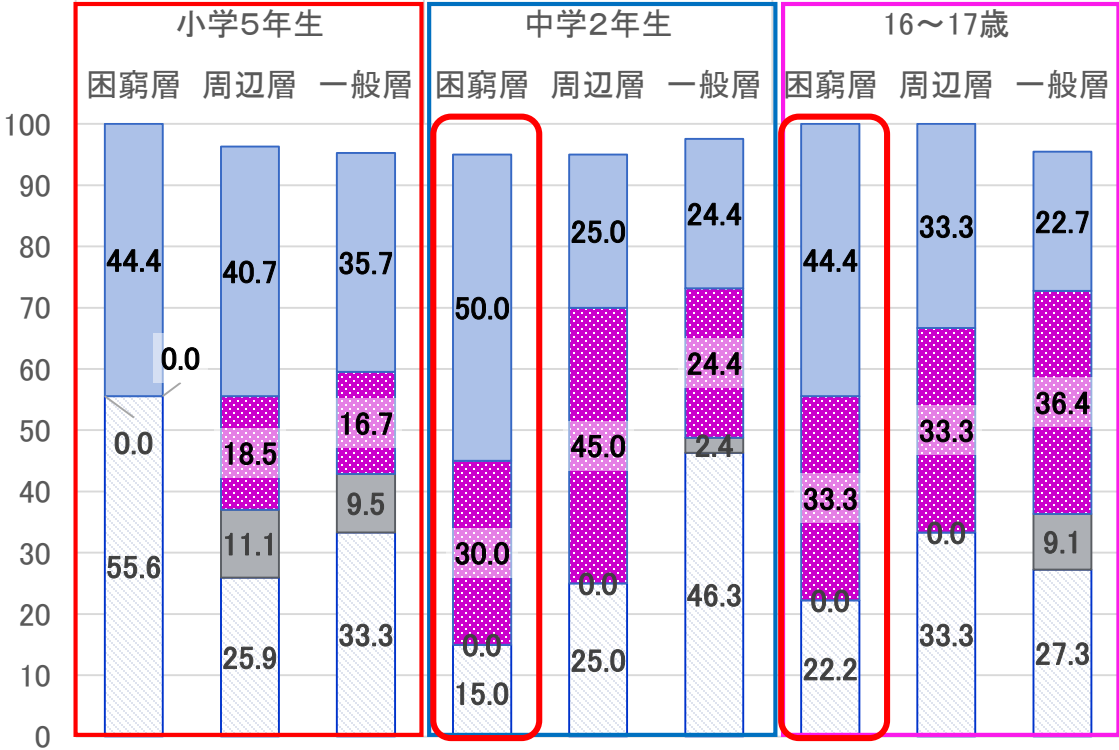


「『母親』ひとり親世帯」は、困窮層・周辺層の割合が高い



養育費の取り決めについて

➡ 養育費の取り決めと受け取りについて



養育費を受け取っていない割合が高い

- 養育費の取り決めをしておらず、受け取っていない
- 養育費の取り決めをしているが、受け取っていない
- 特に取り決めはしていないが、養育費を受け取っている
- 取り決めをしており、養育費を受け取っている

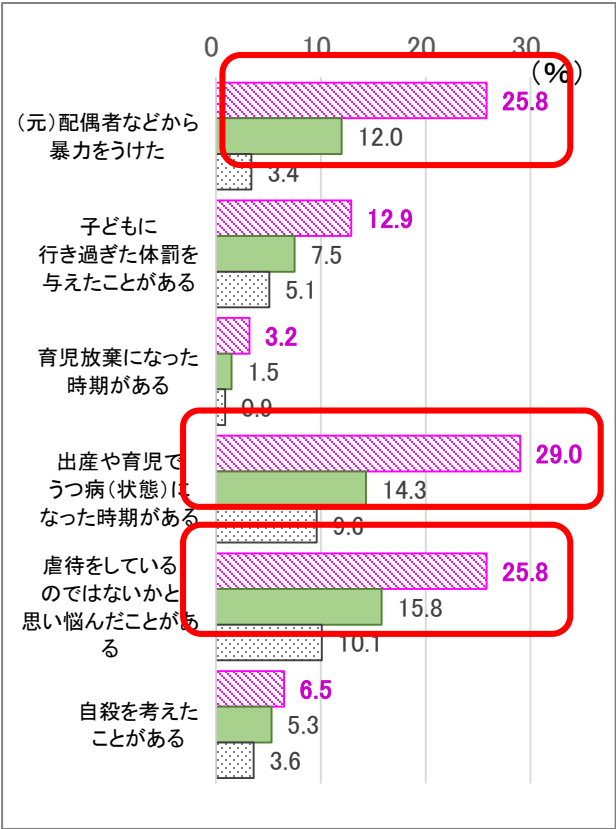


虐待について

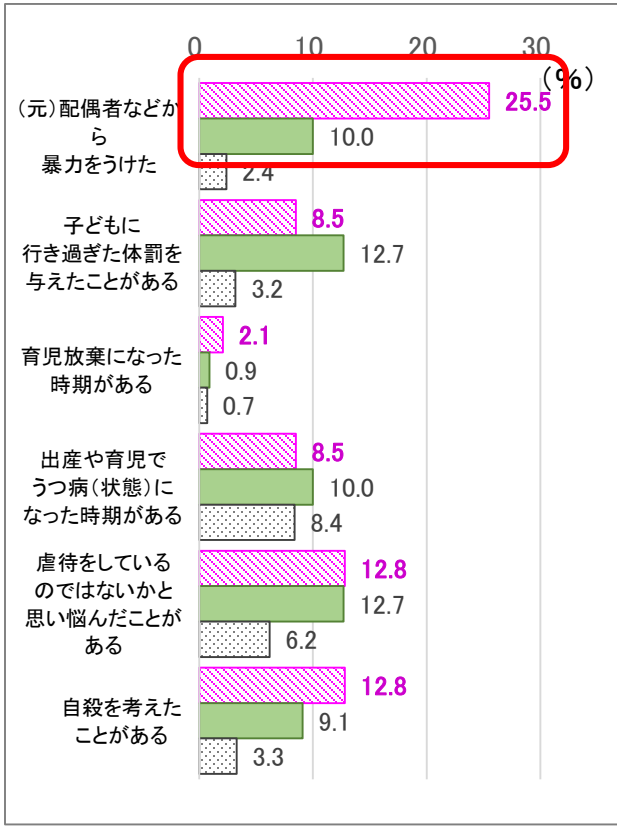
困窮層・周辺層ほど虐待のリスクが高い

→ 虐待につながる経験

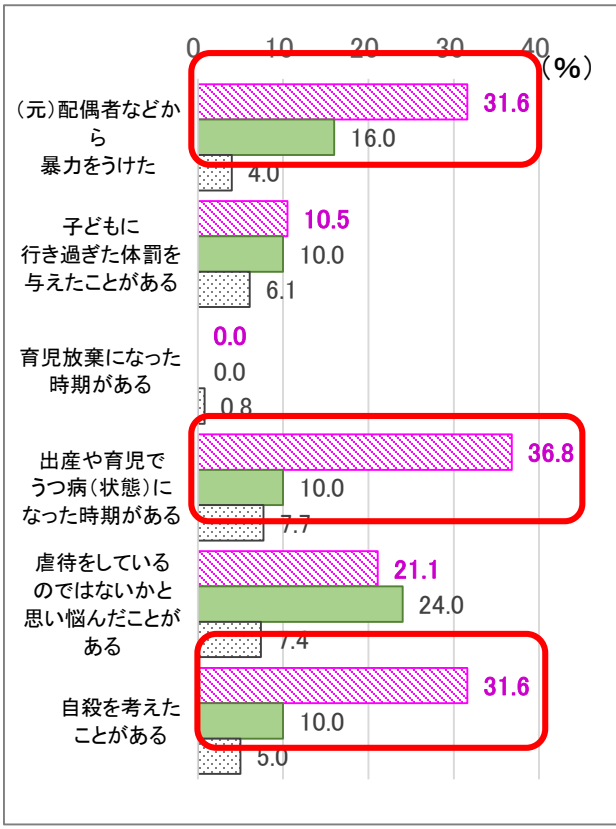
小学5年生保護者



中学2年生保護者



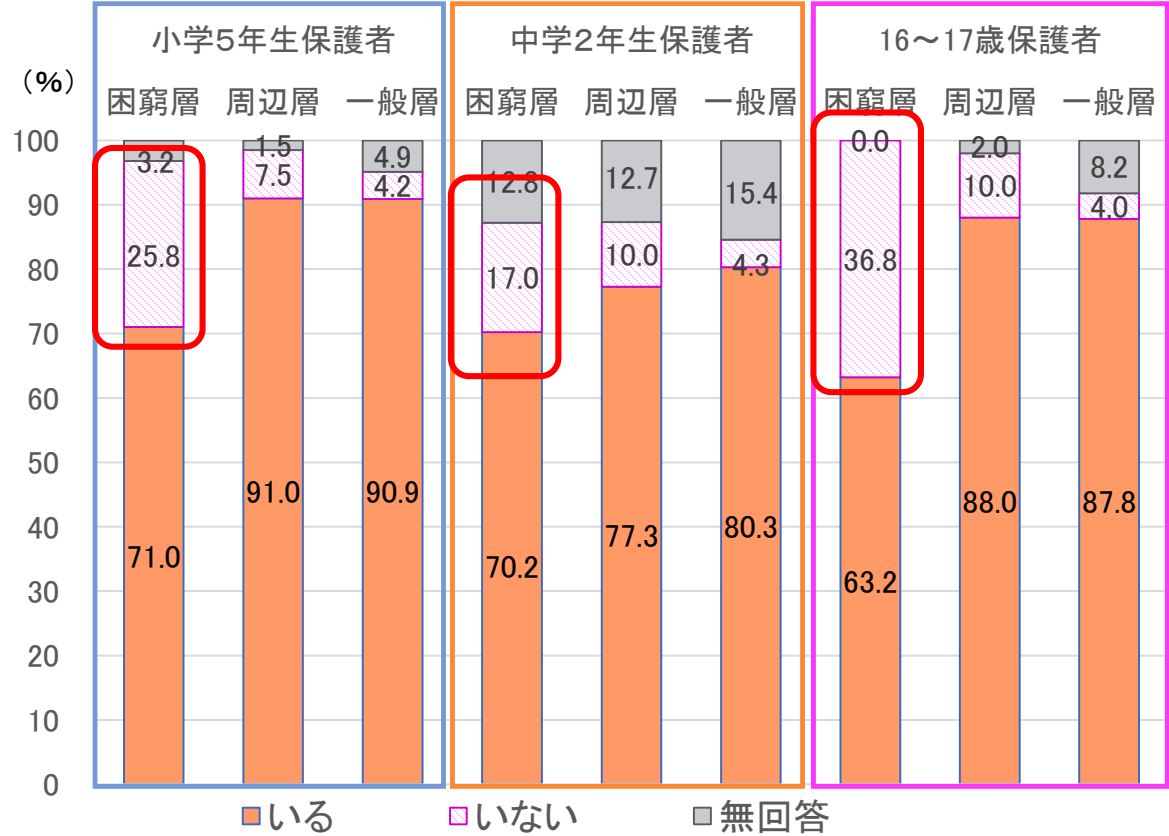
16～17歳保護者





相談できる人の有無

→ 相談できる人の有無



困窮層は相談できる人がいない割合が高い



子どもの声

→ 子ども本人から求められているもの(子どもの生活実態調査<自由回答抜粋>)

	生活・相談	居場所・体験	学習
小学5年生本人	●先生の言い方が怖い ●いじめ禁止条例がほしい ●簡単に気軽に相談できる場所 ●いじめや虐待に合っている子どもを助けてほしい ●何でも相談できる人や気軽に相談できずSNS相談	◇勉強・遊び・習い事の練習、職業体験が無料でできる ◇屋根のある場所（親も入れる） ◇みんなで楽しめるお祭り ◇体験講座 ◇自然を生かしたイベント ◇地域住民の交流・地域の大会 ◇無料のごはん ◇学校以外で給食を食べられる場所 ◇ストレスの発散できる場所 ◇親がゆったりできる場所も必要	■パソコンの授業 ■将来に役立つ専門的な勉強ができる場所 ■集中して勉強できる場所、自習室 ■無料塾 ■授業を1人1人に教えてくれる人 ■学校で受験勉強できるようにしてほしい ■オンライン学習
中学2年生本人	●子どもの気持ちに寄り添った教師がいい ●死にそうな人やいじめられている人を見逃さないでほしい ●家賃を減らしてほしい ●チャットのように気軽に相談できる場所 ●スクールカウンセラーの相談を定期的に行う（例えば年に1回1人ずつなど）	◇家族と一時的に別居できる場所 ◇平日に夜まで居られる場所 ◇自分の価値を見つけられる場所 ◇中学版ひのっかがほしい ◇夢をもてるよう最前線で活躍できる人と会える機会	■無料で学習できる場所や勉強を見てくれる人 ■学校に自習室がほしい ■大学生などボランティアが勉強を見てくれる場所 ■一人一台タブレット端末 ■図書館の自習室を増やしてほしい ■塾等へ通うための支援金（所得制限なし）
16～17歳本人	●母子家庭でより多くのお金が必要なのに非正規雇用の口しかない ●子育てで離職した人が正社員になる制度があるといい ●住居の提供 ●無料で相談できる場所	◇格安で弁当をつくってくれる場所 ◇ひとりで居られる場所 ◇平日の夜まで居られる場所 ◇高校生同士で安全に交流できる場所	■無料で学習できる場所や勉強を見てくれる人 ■大学進学資金援助 ■オンライン学習（学校に通いやすい人）

日野市における子どもの貧困の重要課題

- 子どもの教育環境について

無料の学習スペース等、学校現場と福祉部門等をつなぐ機能の強化
社会体験等の機会の提供、教育に対する経済的支援

- 子どもの生活について

食のセーフティネットの強化、乳幼児からの途切れのない支援
安心して過ごせる居場所、ヤングケアラーの孤立

- 経済面について

困窮世帯への公的制度を活用した支援、減免等の各種サービス

- 子育てについて

地域住民を含めたネットワークの強化

- 相談、支援体制について

関係機関の顔の見える関係と横断的な連携、効果的な情報発信、
職員の支援意識・支援技術の向上

目指すべき姿と基本的な方向性

目指すべき姿

全ての子どもたちが夢と希望を持って
成長していけるような地域を目指します

基本的な方向性

1. 子どもの遊び・学び・体験機会の提供と個々の学力向上に取り組めます
2. 安心して生活できる環境を整え、生活習慣の改善を図ります
3. 子どもに係る経済的負担の軽減を図ります
4. 子育て家庭の悩みへの支援強化と生活の質の向上に取り組めます
5. 効果的に情報を発信し、支援ネットワークを強化します

方向性の共通課題

コロナ禍や物価高騰等に対しては横断的に対応します



施策体系

目指すべき姿

全ての子どもたちが夢と希望をもって成長していけるような地域を目指します



対策

子どもの遊び・学び・体験機会の提供と個々の学力向上に取り組みます

- ・子どもたちの心を支える環境の充実
- ・生活環境に配慮した学習支援
- ・学習環境（スペース）の提供
- ・遊びや社会体験、文化に触れる学習の提供
- ・学習意欲の経済的な面からの支援

安心して生活できる環境を整え、生活習慣の改善を図ります

- ・食習慣の改善、食事提供等の支援
- ・健診結果等による気づきと情報共有による支援
- ・生活習慣等の定期的な把握
- ・子どもと親が安心できる居場所環境の充実
- ・若者等の生活に寄り添った就労支援の実施

子どもに係る経済的負担の軽減を図ります

- ・公的制度による適正な支援
- ・公的制度、サービスの利用量等の減免拡充
- ・家庭の自立に向けた支援の充実

子育て家庭の悩みへの支援強化と生活の質の向上に取り組みます

- ・子育てに関する親の精神的な不安の緩和
- ・安心して子育てができる環境の整備
- ・住宅支援の強化

効果的に情報を発信し、支援ネットワークを強化します

- ・支援を要する子どもの情報集約と連携
- ・全ての子どもに支援が届く情報発信と啓発
- ・相談機能と連携体制の強化
- ・関係職員の気づきを促す研修の実施

（方向性の共通課題）コロナ禍や物価高騰等に対しては横断的に対応します



各方向性における主要な事業

方向性1

子どもの遊び・学び・体験機会の提供と個々の学力向上に取り組みます

- ・子どもたちの心を支える環境の充実
- ・生活環境に配慮した学習支援
- ・学習環境(スペース)の提供
- ・遊びや社会体験、文化に触れる学習の提供
- ・学習意欲の経済的な面からの支援

- 「ほっとも」を全中学校区に設置(1201)
- 放課後学習支援(1202)
- インターネット環境のない家庭への支援(1205)
- 無料塾への支援(1206)
- 体験や文化に触れる場の提供(1403)

方向性2

安心して生活できる環境を整え、生活習慣の改善を図ります

- ・食習慣の改善、食事提供等の支援
- ・健診結果等による気づきと情報共有による支援
- ・生活習慣等の定期的な把握
- ・子どもと親が安心できる居場所環境の充実
- ・若者等の生活に寄り添った就労支援の実施

- 子ども食堂・フードバンク・フードパントリー等への支援(2103)
- 朝食欠食の子どもへの軽食の無料提供(2104)
- 子ども宅食事業(2303)
- 子どもが安心して過ごせる居場所づくり(2405)
- ハローワークと連携したひとり親等の生活困窮者への就労支援(2503)



各方向性における主要な事業

方向性3

子どもに係る経済的負担の軽減を図ります

- ・公的制度による適正な支援
- ・公的制度、サービスの利用量等の減免拡充
- ・家庭の自立に向けた支援の充実

- 生活保護世帯(進学、就労に向けた自立支援プログラム)(3101)
- 就学援助(3102)
- 子どもの医療費助成(3104)
- 養育費未払いへの支援(3302)
- 母子家庭等の資格取得支援(3303)

方向性4

子育て家庭の悩みへの支援強化と生活の質の向上に取り組みます

- ・子育てに関する親の精神的な不安の緩和
- ・安心して子育てができる環境の整備
- ・住宅支援の強化

- 民生委員・児童委員(4103)
- 子育てパートナー事業(4104)
- 乳児家庭全戸訪問、産前産後ケア、育児支援家庭訪問の充実(4106)
- 生活困窮世帯・ひとり親家庭等への民間賃貸住宅への入居支援(4301)

各方向性における主要な事業

方向性5

効果的に情報を発信し、支援ネットワークを強化します

- ・支援を要する子どもの情報集約と連携
- ・全ての子どもに支援が届く情報発信と啓発
- ・相談機能と連携体制の強化
- ・関係職員の気づきを促す研修の実施

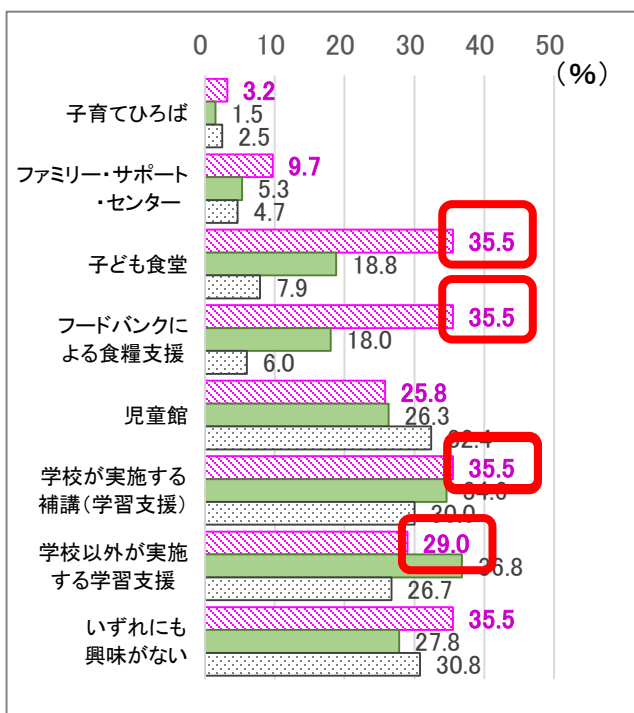
- 子どもに関する連絡協議会等(5101)
- 子どもなんでも相談(5303)
- ヤングケアラー支援検討会(5304)
- ぽけっとなび(5203)
- 子どもの貧困対策に関する研修(5402)



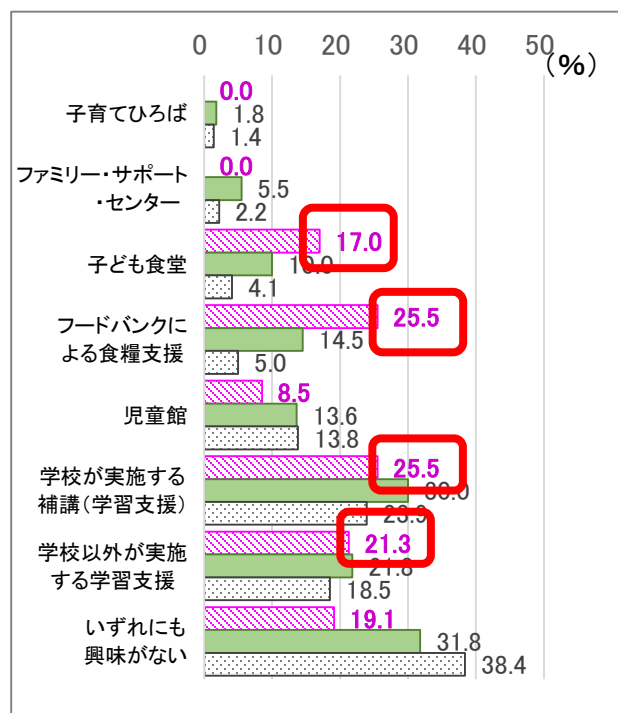
各種支援制度の利用意向

→ 各種制度の今後の利用意向

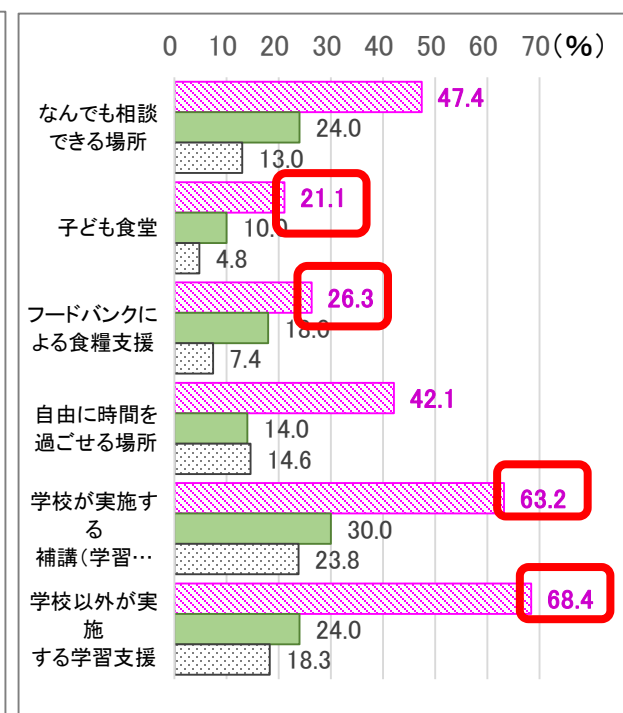
小学5年生保護者



中学2年生保護者



16～17歳保護者



■ 困窮層 ■ 周辺層 ■ 一般層

困窮層・周辺層については、食の支援の利用意向が高い

地域住民主体の子どもの居場所(学習支援)



まるっと
(学習支援と体験機会の提供)

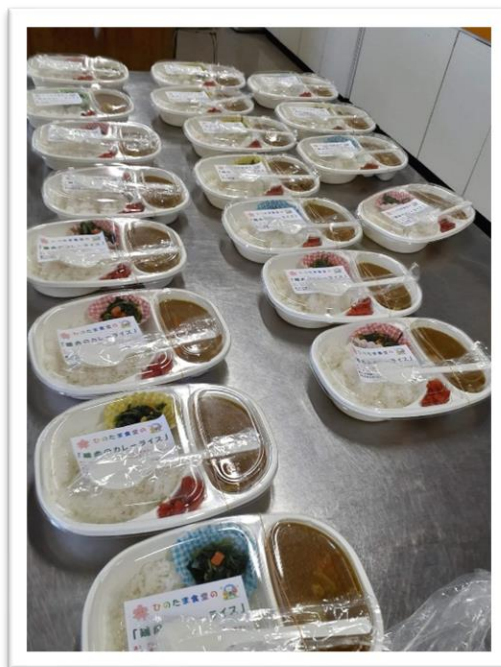


すみれ塾
(無料塾)





地域住民主体の子どもの居場所(食の支援)



ひのたま食堂
(子ども食堂)

開会期間： 月 日～ 月 日 申込番号

こども食堂

日にち：12月3日(土)
時間：12:30～13:30

場所：ひの児童館1階
住所：日野市日野本町7-5-23
主催：ひのたま食堂
協力：ひの児童館
フードバンクTAMA

来月の開催日
1月21日(土)

メニュー

- ★ キーマカレー
- ★ 副菜はお楽しみ♪
- ※アレルギー食には対応しておりません。ご注意ください。

料金

こども(中学生まで) ⇒ 無料
大人(高校生以上) ⇒ 200円
*次回開催の材料費に活用させていただきます。

予約締切日：11月30日(水)

住所・名前・電話番号・大人と子供の人数をお知らせください。
電話番号：070-8955-6535 (代表 福島)
Email：hinotama0530@gmail.com
LINE：

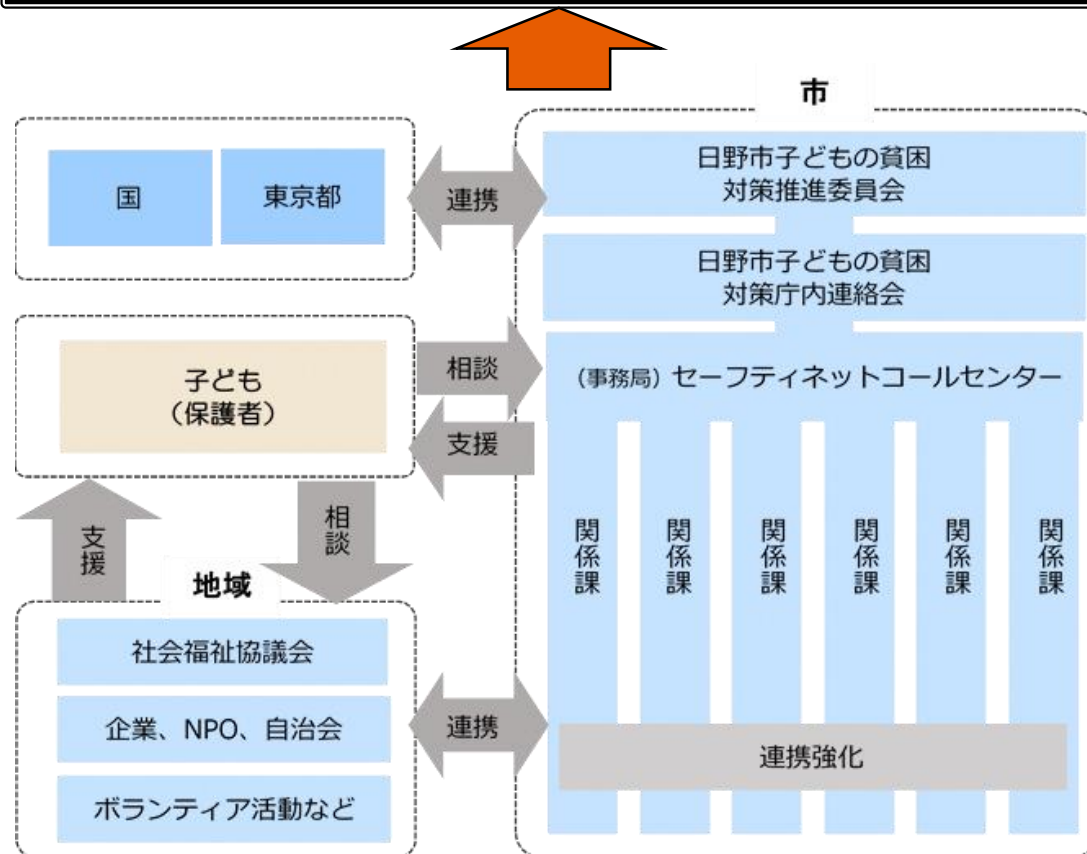
※感染予防のため、マスク着用の上、ご来所下さい。
※検温(非接触式)の実施と、住所・氏名等連絡先のご記入をお願いしております。

予約制
限定50食



貧困対策を進めるためには

全ての子どもたちが夢と希望を持って
成長していけるような地域を目指します



庁内各課の連携
関係団体等との連携

困窮家庭の子どもたちの 不利を蓄積させないために

PART 4. 困難な状況にある子ども・家庭への 支援の取り組み事例

東京都立大学 非常勤講師
小田川華子

研修のねらい

105

【テーマ】困窮家庭の子どもたちの不利を蓄積させないために

Part 1. 子どもの貧困の現状

- 困窮家庭の子どもを知る
- 困窮家庭の子ども、保護者の置かれている状況を知る

Part 2. 予防と対応：各部署でできること

- 貧困対策における市の役割
- 察知・配慮・支援につなげる
- 連携のしくみづくり

Part 3. 日野市の子どもを取り巻く現状と

第2期日野市子どもの貧困対策に関する基本方針について

Part 4. 困難な状況にある子ども・家庭への支援の取り組み事例

- 食料を活用してつながり、見守り、地域で子育て



NPO法人

豊島子どもWAKUWAKUネットワーク

106

豊島子どもWAKUWAKUネットワーク

地域の子どもを地域で見守り、育てるための3つの主な取り組み

- ①遊びサポート
- ②学びサポート
- ③くらしサポート

地域が変わる
子どもが変わる
未来を変える

地域の子どもを地域が見守るための3つの主な取り組み

暮らしサポート



子ども食堂



夜の児童館



ホームスタート



WAKUWAKUホーム

地域の大人



地域で育ち学んだ子どもたちが
大人になったら地域を支えるおせっかえるに!!

地域の子ども

大学生

活動に関わることでのやりがい、
地域の子どもに対して意識の変化

さまざまなカタチの居場所を
通じて新たな可能性の発見

大学生

様々な取り組みから相互に連携したネットワークの網で切れ目のない伴走支援

遊びサポート

池袋本町プレーパーク



住民による
ピア・サポート

専門家・行政へも
つなげていきます

学びサポート

無料学習支援



地域にいる、貧困、不登校、虐待、外国籍、障害など、さまざまな困難を抱え孤立した家庭を
環境に左右されることなく、自分らしい人生を歩めるように、地域でのサポート体制

コミュニケーションを紡ぐ

108

- 居場所(交流拠点)の点在化
 - ▣ 地域のおせっかいさんと子どもをつなぐ
 - ▣ 地域のおせっかいさんと家庭をつなぐ
 - ▣ ひとりの子どもがいくつもの居場所を利用するとその子を応援するおせっかいさんが増える

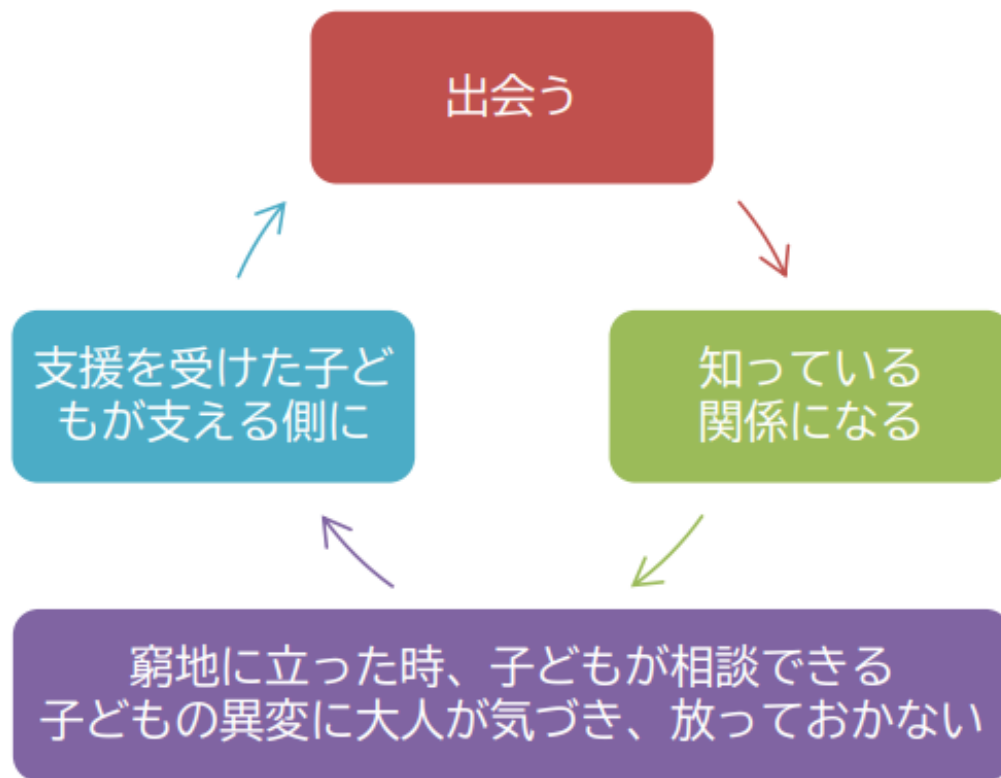
- 居場所のネットワーク化
 - ▣ 子ども食堂をする団体のネットワーク
 - ▣ 無料学習支援をする団体のネットワーク

子どものつぶやきをキャッチしておせっかいになるプロセス

109



おせっかえる



子どもとおせっかいさんの関係づくり

ライス！ナイス！ プロジェクト

コロナウイルス感染拡大の影響で、毎日の生活に不安を感じていることと思います。

そんな皆様を「食」の面からサポートするため、宮城県七ヶ宿町産のおいしいお米と地域のお店で使えるお食事券をお渡しする、子育て応援企画「ライス！ナイス！プロジェクト」がスタートしました。
ぜひご利用ください！

【本プロジェクトの対象の方】

このチラシが直接届いた、
豊島区に住まわれている親子

【お渡しする場所】

豊島区 22 拠点の区民ひろば等
(お申込み時に一か所をご指定)

【お申込み方法】

お受け取りに來たい区民ひろば等を選択し、
必要事項をご記入の上、
同封の封筒にてお申し込みください。
※申し込み締め切り 9 月 5 日（消印有効）

お渡しできるもの

1 豊島区「コロナに負けるな！としま」
区民・福祉支援等付金で購入した

宮城県産の
美味しい
お米
(5 キロ程度)

東京豊島ライオンズクラブ寄付金、
特定非営利活動法人ワールド・ビジョン・ジャパン活動助成金で購入した

地域のお店で使える

お食事券
(1500 円相当分)

裏面もご覧ください▶

お受け取り場所一覧

お受け取りにお越しいただく日と場所を選択してください。

8月30日(日) 9:00-17:00

区役所 4 階 子育て支援課 ----- 南池袋 2-45-1

9月19日(土) 13:00-14:00

区民ひろば千早 ----- 要町 3-7-10
区民ひろば雑名町 ----- 南長崎 4-12-7
区民ひろば西池袋 ----- 西池袋 2-37-4 としま産業振興プラザ(イケア・ビズ)2 階
区民ひろば池袋本町 ----- 池袋本町 3-9-4
区民ひろば関有 ----- 東池袋 2-38-10
区民ひろば豊成 ----- 上池袋 1-28-7
区民ひろば朝日 ----- 黒鴨 5-33-21
区民ひろば御高 ----- 駒込 4-12-3

9月20日(日) 13:00-14:00

区民ひろばさくら第一 ----- 南長崎 6-20-15
区民ひろば富士見台 ----- 南長崎 1-6-1
区民ひろば要 ----- 要町 1-5-1
区民ひろば高松 ----- 高松 2-25-9
区民ひろば池袋 ----- 池袋 4-21-10
区民ひろば上池袋 ----- 上池袋 3-13-5
区民ひろば高南第二 ----- 高田 3-38-7
区民ひろば南池袋 ----- 南池袋 3-5-12
区民ひろば南大塚 ----- 南大塚 2-36-1
区民ひろば西黒鴨第二 ----- 西黒鴨 2-14-11
区民ひろば清和第一 ----- 黒鴨 3-15-20
区民ひろば駒込 ----- 駒込 2-2-4
区民ひろば目白 ----- 目白 2-20-26
区民ひろば長崎 ----- 長崎 2-27-18

※以上の日時にどうしても受け取りに來られない場合は、お問合せください。

【お問い合わせ】

NPO 法人豊島子ども WAKUWAKU ネットワーク

TEL 090-3519-3745 FAX 03-3986-4556 Eメール info@toshimawakuwaku.com

●実施 NPO 法人豊島子ども WAKUWAKU ネットワーク

●お食事券の協力 東京豊島ライオンズクラブ、特定非営利活動法人ワールド・ビジョン・ジャパン

●寄付活用事業主管 豊島区子育て支援課

地域がつながるプロジェクト

111

- 「支援対象児童等見守り強化事業」
- 豊島区子育て支援課と豊島子どもWAKUWAKUネットワークの協働（委託）
- ひとり親家庭など困難を抱える家庭のうち参加申し込みのあった家庭に対し、地域の有償ボランティア訪問員がお菓子などのプレゼントをもって訪問し、子どもや家庭の状況を把握するなど、地域で子ども見守る事業
- 約300世帯を約70人の訪問員が担当
- 訪問員は子どもの様子を確認し、区に報告書を提出

**地域が
つながる
プロジェクト**

コロナ禍の中、如何お過ごしでしょうか。毎日の子育ては大変なことと思います。
訪問員が、ご家庭に月に1回、プレゼントをお届けします。
不審者等も出現するご時世、訪問員がお子様の名前と顔を覚えて、外で会った時も見守れるよう
にしたいと考えています。「地域がつながるプロジェクト」ぜひご利用ください！

プレゼントの内容

- 11月 ご飯がすすむ極うまおかずなど
- 12月 クリスマス用の魅力的なスイーツなど
- 1月 お正月のおもちを中心に...
- 2月 バレンタインにちなんだチョコレートなど

【実施期間】 11月～2月、毎月1回
※訪問員にお子様は「こにこ」に預けてください。お家でない方がいいという方は、近くの区民ひろば等で会うことも可能です。

【本プロジェクトの対象者】 このチラシが直接届いた豊島区に住まわれている家庭

【お申込み方法】 こちらのQRコードの申込フォームよりお申し込みください。
<https://forms.gle/6QQhLPz8RzAtRho6>

訪問員はこのホルダーを下げています。

【お問い合わせ】
NPO法人豊島子どもWAKUWAKUネットワーク
〒171-0014 豊島区池袋3-5-2-21
TEL 090-3519-3745 FAX 03-3986-4556 Eメール info@toshimawakuwaku.com
●実施 NPO法人豊島子どもWAKUWAKUネットワーク ●事業主管 豊島区子育て支援課

申し込み締切
11/3 (火)

参加家庭(プレゼント受け取り家庭)

112

- 要保護児童
- ひとり親世帯
- 外国ルーツの世帯
- WAKUWAKUが実施する子ども食堂等につながっている子ども・家庭

訪問員の募集：地域の子どものことを 気にかけている方々に個別に声かけ

113

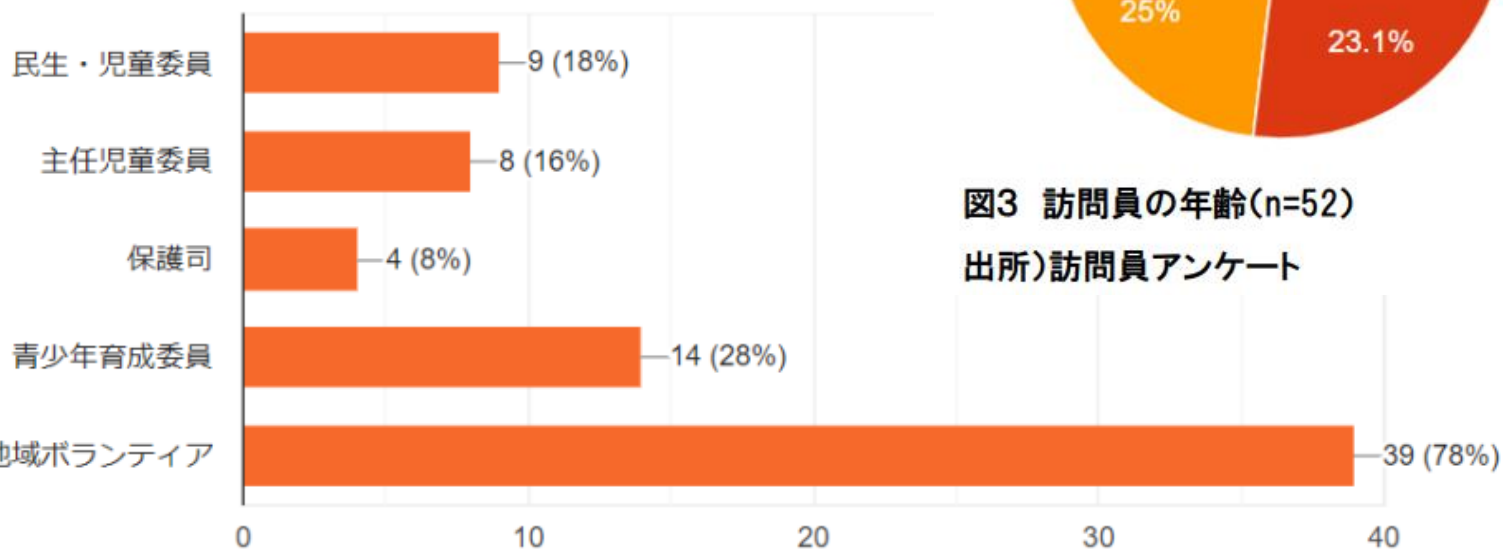


図1 訪問員が地域の子ども支援に携わる際の立場(複数回答)(n=50)

出所)訪問員アンケート

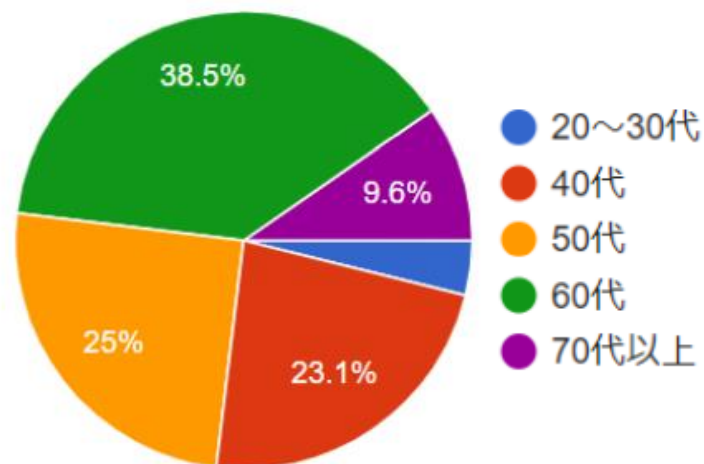


図3 訪問員の年齢(n=52)

出所)訪問員アンケート

訪問員の地域活動経験

114

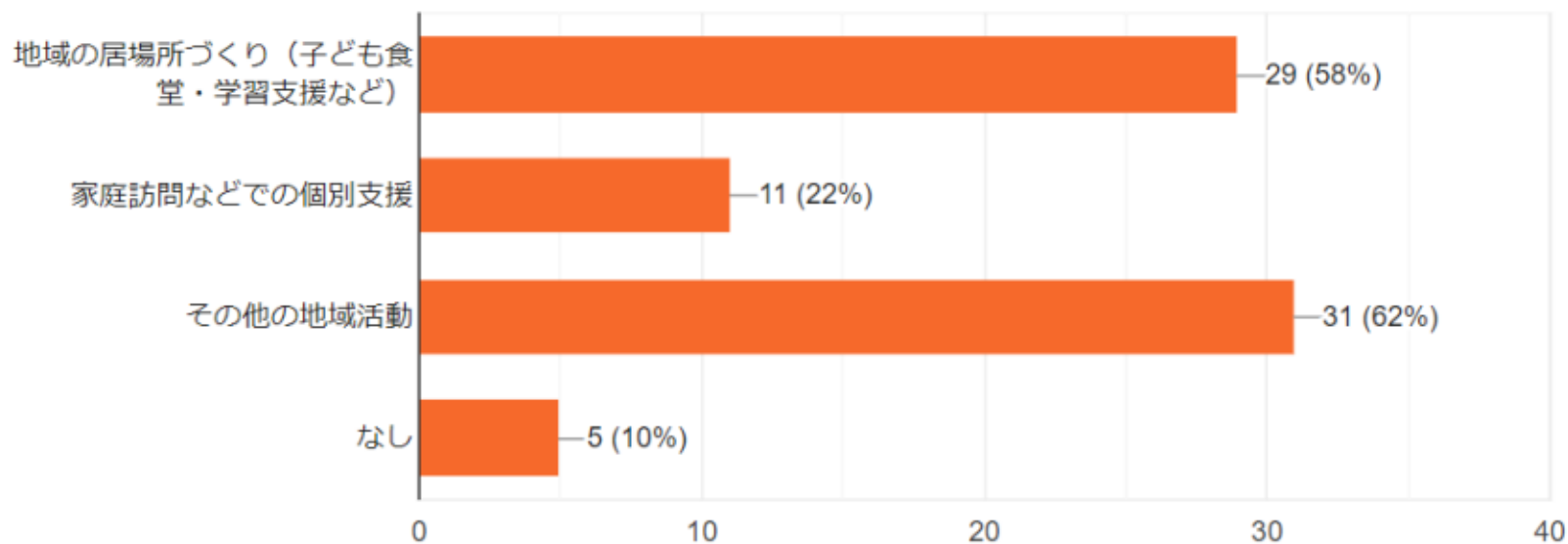


図2 プロジェクト以前に訪問員が参加した地域の子ども支援(複数回答)(n=50)
出所)訪問員アンケート

応募したときの訪問員の気持ち

115

子どもの悲しいニュースを見るたびに、自分でも何かできないかと考えていました。ネットやマスコミで母親を責める声を聞いたたびに、責めるのではなく支援が必要なのに、どうしたらいいんだろう、いつも心苦しく感じていたので。

私自身が母子家庭で、それ故の苦しさを感じて育ったので、ひとり親家庭の子どもさんやお母さんのお役に立てるなら嬉しいと思った

月1回、または年数回のイベント開催では、なかなかつながりが持てなかったのですが、月1回の訪問事業だと、いざという時に頼ってもらえるつながりが作れるのでは

子育てしていると煮詰まることもある。そんなときに、誰かがくることで、なにか風穴になれば

*訪問員アンケートより

参加家庭の声

116

大変助かっています！金銭的にも心にも(一時ではありますが)少し余裕ができ、もう少し頑張れるかなという気持ちになります。(母子、4歳～未就学)

自宅まで、ご足労いただき恐縮です。毎回、子供が大変喜んでおりました。〇〇さんと一緒にご飯を食べるなどといい、訪問の度に喜んでいました。子供の喜んでいるのは、親も嬉しいです。(母子、小学1～3年生)

支援の方に、お会いした時、料理など教えてもらったり、子どもに手作りの玩具頂いたりで親子で月1回お会いできるのを楽しみにしています。(母子、小学4～6年生)

近所の方と気軽に話せる機会が得られて嬉しかったです。なかなか公園等でも話しかけるのに悩むので、とてもありがたかったです。先輩ママさんからの地域の情報も、とても助かりました。(両親世帯、1～3歳)

WAKUWAKUホーム

117



□ 宿泊機能付き拠点

居場所

- ・食堂
- ・相談支援

- 親子関係が煮詰まったときに子どもが泊まれるお家があったらいいな
- ひとり親家庭の子育ては大変
- 地域や学校から切り離されない
- クラブ・バイト・習い事・子ども食堂でのつながり



未来応援ネットワーク事業＜子供の未来応援基金＞

社会を良くするたしかな一歩



赤い羽根
福祉基金

赤い羽根福祉基金＜子ども・家庭支援部門＞



株式会社アルトナー様（赤い羽根福祉基金を通じてご寄付して頂いております）

セーフティネット住宅制度を活用して 母子家庭に子ども部屋を

118

- 2人の子どもが小学生の時に離婚
- 子どもにとって慣れ親しんだ地域に住み続けたい(区部)
- 母は正規職、早朝・残業代を入れても月収19万円
- アパート:1DK+物置、13.5万円(収入の6割)
- 狭い空間で親子の距離が保てず、親子ゲンカが長引く



- 子育て支援NPOの仲介で広く、安い家に転居(家賃補助)
- 8畳の子ども部屋、4畳半の母の部屋、家賃は収入の4割
- 子:自分のやりたいこと、集中すべきことに集中できる
- 母:精神的にゆとりができ、視野が広がった



- 生活が落ち着いたことで収入の良い仕事に転職
- 家賃は収入の3割

ワンルームに住んでいる親子がいたらすぐに居住支援協議会(住宅課)に連絡!



子どもの話を聞いてくれる地域の人
クーラーが壊れたときに相談できるご近所さん

「形式が本質らしく本質している」

- 交流拠点でのコミュニケーションを通して気づく
- 地域の支援団体、拠点につなげる
- 市や社会福祉協議会などの支援担当者につなげる
- 食べ物など敷居を低くする工夫をして家庭とつながる
- 親の相談相手になる
- 制度利用につなげる

市民とともに地域をつくる

120

- つながりやすい工夫をしましょう
- 対話が生まれる場をつくりましょう
- 気づきから湧き出る想いを伝えあう場をつくりましょう
- 小さなお願いごとを沢山の人にしましょう
- おせっかいさんが「やりたいこと」「できること」から
- こういった活動をサポートするオーガナイザーの存在も大事

日野市では

地域のどのような方々と
どのような取り組みをとおして
地域の子育てを耕していきますか？